

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	新庄亀綾織体験工房として空き店舗を有効活用することで利用者数が伸びており、まちなか楽校や新庄まちなかひなめぐり等の開催により商店街に賑わいを生んでいる。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	亀綾織伝承協会への家賃補助、株式会社TCMへの事業補助を行うことによる空き店舗の有効活用と商店街に賑わいを生んでいる。
有効性	③成果の向上余地がない か	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	「まちなかサロン」としての機能をもっと充実し、伝統工芸品としての亀綾織をもっと観光客等に周知することで事業の効果を高めたい。
効率性	④成果を下げずに事業費を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	家賃及び事業費補助共、これ以上の削減は難しい。
	⑤人員や実施形態は 適正か	● 改善の余地がない ○ 改善の余地がある	事業の充実を図るためにも必要な人員である。
	⑥他自治体と連携できる か	● できない ○ できる	亀綾織は新庄市伝統工芸品であるため、連携はできない。また、まちなか楽校や新庄ひなめぐり事業も市内商店街の活性化事業であるため連携はできない。
	⑦官民協働できるか	○ できない ● できる	亀綾織を継承するために、官による家賃補助と民による亀綾織の実演・体験事業という形での協働事業となっている。
	⑧地域の課題や実情に合わせた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	地域の宝として亀綾織を継承していくことが、まさに実情に合わせた事業となっている。

(CHECK) 自己評価

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
機織り体験については年々体験者数が増えてきており、当市の観光体験として定着してきた。しかし、亀綾織伝承協会でこれまで賃貸してきた長屋が老朽化しており、それに伴い平成29年3月31日で商店街から撤退となった。これまで商店街の賑わい創出を目的として家賃の半額分を補助してきたが、今後の対応を検討する必要がある。また、その他の事業についても引き続き内容を精査し、中心市街地活性化に向けてより良い手法を模索していかなければならない。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

・関係機関と連携した亀綾織についてのパンフレットによる周知 ・イベントチラシの作成、新聞折込等を用いた周知
--

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
平成29年度に新たに借りた借家の家賃半額分については助成を行わないものとするが、当市の貴重な観光資源の一つとして引き続き周知等協力可能なものは協力していく。また、新庄TCM(株)と協議し、現行の施策の問題点等あれば解決に向け努めていく。

(ACTION) 改善

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)			
所属長評価	引き続き、空き店舗の解消を継続していくためにも家賃補助を継続しながら、伝統工芸を継承する取組により商店街の賑わいづくりを図っていく。中心市街地をPRする事業については内容を検討しながら、さらなる賑わいに貢献していくことが必要である。	所属長評価	亀綾織伝承協会の商店街からの撤退は、中心市街地の賑わいに影響を与えることが想像される。今後は新庄TCM(株)がより独自性を持って事業を展開できるようサポートしていく必要がある。		
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止		

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

(PLAN) 計画

1. 基本事項

Table with 4 columns: 事務事業名, 基本目標, 政策名, 施策名, 事業区分, 法令根拠, 条例・要綱等, 予算・事務事業名, 事業期間. Includes details for '創業支援事業' and '創業者の振興'.

2. 事務事業の概要

Table with 3 columns: 目的, 対象, 実施形態. Describes the purpose of supporting entrepreneurs and the types of support provided.

3. 実施状況

Table with 10 columns: 指標名称, 年度, H26, H27, H28, H29, H30, H31, H32見込. Shows performance metrics for '創業者相談件数' and '空き店舗等出店支援相談件数'.

Table with 4 columns: 補足説明, 空店舗等出店支援数, 業種, 現在の状況. Provides detailed notes on the support provided to vacant shops.

成果(どのような状態になったか) 相談件数、申請件数とも増加傾向にあり、本事業の認知度向上及び創業意欲の向上が図られた。

4. 投入資源

(単位:千円)

Table with 7 columns: 年度, H26, H27, H28, H29, H30, H31. Details costs for '事業費' and '人件費' across various categories.

(DO) 実行

(CHECK) 自己評価

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	年々創業意欲が高まってきており、それに対応できている。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	商工業の総合的な発展のためには創業者をより支援していかなければならぬ。
有効性	③成果の向上余地がない か	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	商工会議所等関係機関と綿密に情報共有を図ることで、より良い支援制度になる余地はある。
効率性	④成果を下げずに事業費を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	年々創業意欲が高まっているため、これ以上の削減は難しい。
	⑤人員や実施形態は適正か	● 改善の余地がない ○ 改善の余地がある	正規職員0.13人分であり、これ以上の人員削減は難しい。
	⑥他自治体と連携できるか	● できない ○ できる	連携して広域的に支援していくことは予算的に見ても考えづらい。
	⑦官民協働できるか	● できない ○ できる	個人情報等の取り扱いがあるため難しい。
	⑧地域の課題や実情に合わせた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	中心市街地の活性化に直結する事業である。



6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
平成28年度当初より、曙町地域の空き店舗率増加に伴い、その地域についてのみアルコールを伴う飲食サービス業の創業について認定するよう改正した。しかし今年度曙町地域での創業者を認定することはできなかった。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

・金融機関や商工会議所等関係機関へのチラシの配布

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
引き続き制度の周知について徹底するとともに、商工会議所で行う創業相談の際に制度周知を行っていく。

(ACTION) 改善

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)	
所属長評価	空き店舗の出店は順調に伸びている。一方で、市の賑わいを創出してきた曙町地域での空き店舗数の増加が著しい。要綱の改正による空き店舗解消策を今後講じる必要があると思われる。	所属長評価	当市の観光資源でもある曙町の歓楽街の賑わいを取り戻す必要がある。新規創業者への支援のみでなく、商工会議所と連携して既存店舗の相談にも手厚くフォローしていくことが求められる。
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

(PLAN) 計画

1. 基本事項

事務事業名	商談会出展事業補助事業			事務事業コード	121-201-42
総合計画	基本目標	1	いきいきと働き、活力とにぎわいのあるまち	担当課	商工観光課
	政策名	2	多様な連携を強化し、活力ある商工業を確立する	担当者	柿崎 恭平
	施策名	2	企業の誘致と支援	内線	258
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等	新庄市商談会等出展支援事業費補助金交付要綱				
予算・事務事業名	一般会計	7款1項2目	中小企業振興対策費	予算コード	01-070102-0400
事業期間	○ 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	● 期間限定 始期 27 年度 ~ 終期 32 年度 (独自事業は基本的に平成32年まで)				
	○ 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 年度 ~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	厳しい経営環境の中で、新たな受注先の開拓や販路の拡大に積極的に取り組む市内中小企業者を支援することにより経営力向上を図る。	事業内容	出展料(小間借り上げ料)、小間装飾料、交通費(公共交通機関、有料自動車道使用料)の2分の1相当額を補助(上限20万円)		
対象	市内で1年以上営業中の企業(個人・法人)で、自社開発した製品、サービス等を、県外又は海外で開催される展示会等に出品するもの。				
目指す状態	目指すべきは出展企業の増加である。すなわち自社開発を行う企業の増加、完成品を手がける企業の増加であり、市場競争力のある企業が市内に増加することである。	実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	補助対象事業所数	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32見込
			実績	187	-	結果未公開				
説明(算式等)	大分類「製造業」/経済センサスより		達成率							
活動指標	指標名称	広報活動(回)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32計画
			実績	3	3	3				
説明(算式等)			達成率	100.0%	100.0%	100.0%				
成果指標	指標名称	出展事業者数	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32目標
			実績	6	2	2				
説明(算式等)			達成率	100.0%	33.3%	33.3%				
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)									
	■事業効果					■補助金交付実績				
	地方創生に効果があった					補助金 200,000円×1社				
						補助金 140,437円×1社				
■上記の理由										
商談会への出展により取引見込み先等が増え、販路拡大に寄与したことで、地域の生産力の向上を図ることができた。										
成果(どのような状態になったか)			商談会への出展により取引見込み先等が増え、販路拡大に寄与した。							

(DO) 実行

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	事業費の算出根拠(H28)		
事業費・・・①	566	218	341	600			歳入の積算内訳		
内訳	国庫支出金		218	341			地方創生加速化交付金		341
	県支出金								
	受益者負担								
	その他特財								
一般財源	566	0	0	600	0	0	主な歳出の内訳		
人件費・・・②	1,718	1,718	1,703	1,703	0	0	商談会等出展事業費補助金(2社)		341
内訳	正規職員(人)	0.22	0.22	0.22	0.22				
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,741				
費用合計(①+②)	2,284	1,936	2,044	2,303	0	0			
臨時嘱託等(人)									
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)	H27・H28ともに2件の補助を行ったが、H27の1件は合同出展であったため出展費が抑えられ、補助金額も18千円と比較的低額であったため。								

(CHECK) 自己評価

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	今後の継続した出展意欲に確実に結びついている。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	市内企業の販路拡大及び競争力向上につながる。
有効性	③成果の向上余地がない か	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	さらなる制度の周知と活用提案を行う。
効率性	④成果を下げずに事業費を 削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	現状が最低限度の補助額である。
	⑤人員や実施形態は 適正か	● 改善の余地がない ○ 改善の余地がある	徐々に定着しつつある事業であるため、さらなる効率化には取り組んでいくものの、現状が最低限度の人員である。
	⑥他自治体と連携できる か	● できない ○ できる	市以外の事業主体が見当たらない。
	⑦官民協働できるか	● できない ○ できる	補助事業であるため。
	⑧地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	市場競争力が増加することで、地域経済の発展・雇用の拡大に寄与するため。



6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
補助制度を開始した平成23年度以来の活用状況から、比較的小規模な事業所が出展する商談会は近隣の開催であったり地域の他の企業との合同出展という形態をとるため対象経費も少額であり、支援としての事業成果は薄かった。一方、大規模な企業が出展する商談会は首都圏での開催で出展料の補助のみで上限額を超えるような大規模なものが多かった。本事業の性質から、大規模な事業所が出展する際の経常的な経費となることは望ましくなく、小規模な事業所がチャレンジ精神を持って商談会へ出展し販路拡大を図ることへの支援を積極的に行うことが重要である。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

平成29年度からは7.に記載の3項目について対象経費に加え制度運用を行っている。
--

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
平成28年度から新たに交通費を補助対象経費に加えた。重ねて、宿泊費、輸送費、広報資料作成費の3つを対象経費に加えることで、小規模な事業所が出展する際にもきめ細やかな支援が行える。

(ACTION) 改善

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)	
所属長評価	企業の新規立地が相次いだこと、既立地企業の設備投資や新製品開発が加速化していることから、これまで以上に資金面でのサポートを図っていくべきである。	所属長評価	地域の企業の技術力の高さを県外へ発信し、取引の拡大を図るためにも商談会への出展は重要な要素となる。出展経験が無い企業に対し後押しするためにも、さらなる支援を行っていく必要がある。
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

(CHECK) 自己評価

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	取引先の拡大や、大手企業から技術を評価されるなど、経営力の向上に結びついている
	②対象や目指す状態が 適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	市内企業の取引先の拡大及び付加価値額の増加につながる。
有効性	③成果の向上余地がない か	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	さらなる制度の周知と活用提案を行う。
効率性	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	新製品開発という新たな取り組みには相応の資金が必要となるため、現状が最低限度の補助額である。
	⑤人員や実施形態は 適正か	● 改善の余地がない ○ 改善の余地がある	継続して定着を図る事業のため、効率化に取り組むものの、現状が最低限度の人員である。
	⑥他自治体と連携できる か	● できない ○ できる	市内企業への支援であるため、連携はできない。
	⑦官民協働できるか	● できない ○ できる	補助事業であるため。
	⑧地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	取引先の拡大及び付加価値額が増加することで、地域経済の発展・雇用の拡大に寄与するため。



6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
新事業の展開をすることにより、経営力の向上に結び付けるため、制度について周知を行い、活用企業の掘り起こしが必要がある。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

金融懇談会にて市内金融機関制度について説明を行った。

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
企業への周知のみならず、金融機関等の支援機関に対しても制度の周知活動を行い、活用企業の掘り起こしを図る。

(ACTION) 改善

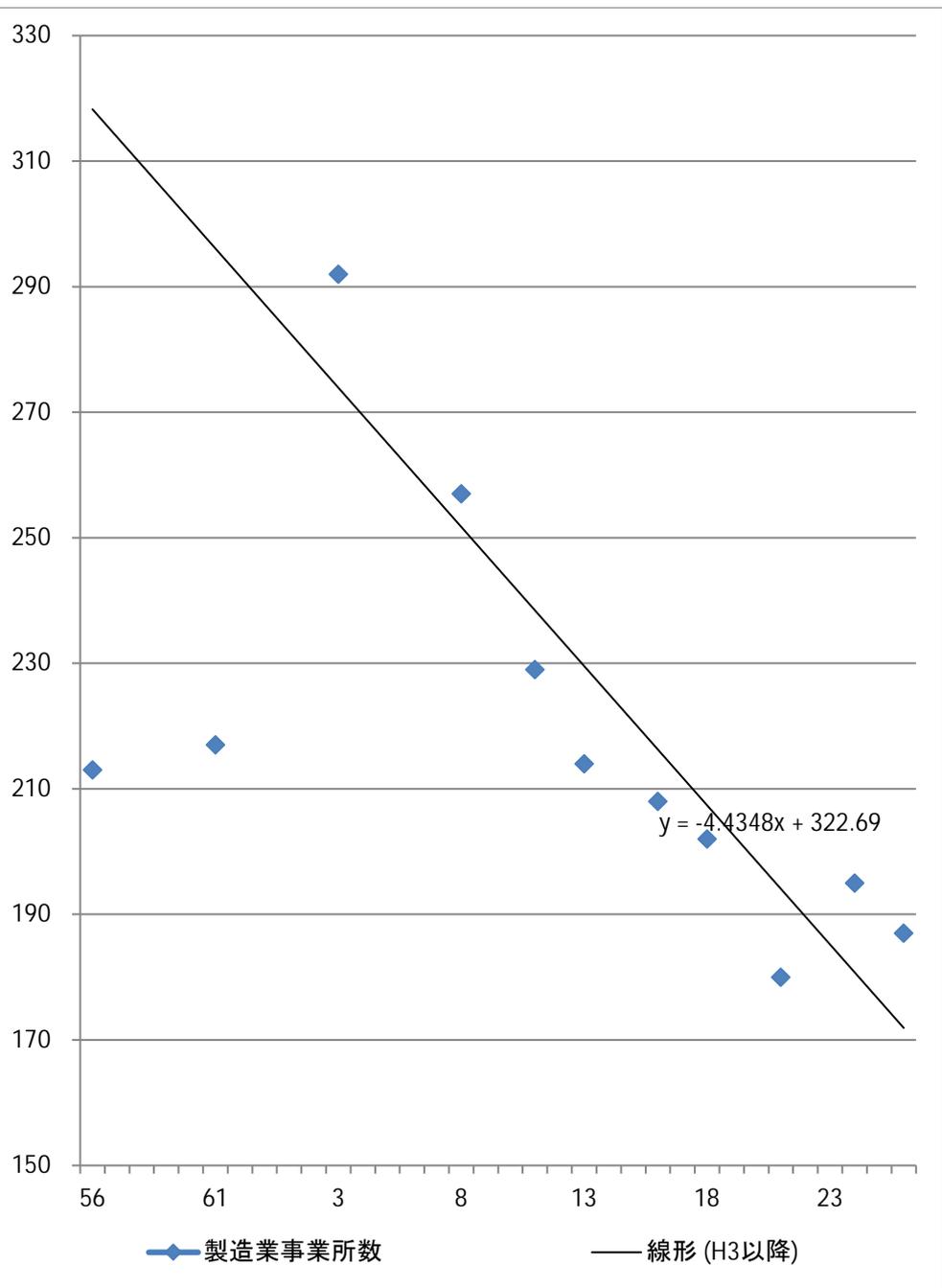
9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)			
所属長評価	新規事業のためなし	所属長評価	地域の企業の付加価値額の増加、取引の拡大を図るためにも新製品、新技術の開発は必須である。資金の関係で開発に踏み出せない企業の後押しするためにも、さらなる支援を行っていく必要がある。		
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止		

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

ID	年度	事業所数
1	56	213
2	57	
3	58	
4	59	
5	60	
6	61	217
7	62	
8	63	
9	元	
10	2	
11	3	292
12	4	
13	5	
14	6	
15	7	
16	8	257
17	9	
18	10	
19	11	229
20	12	
21	13	214
22	14	
23	15	
24	16	208
25	17	
26	18	202
27	19	
28	20	
29	21	180
30	22	
31	23	
32	24	195
33	25	
34	26	187
35	27	
36	28	
37	29	
38	30	
39	31	
40	32	145(推計)



$$\begin{aligned}
 \text{平成32年度推計値}(y) &= -4.4348 \times \text{ID}(x) + 322.69 \\
 &= -4.4348 \times 40 + 322.69 \\
 &= 145.298 \\
 &\doteq 145
 \end{aligned}$$

■ 直線的な変化を示す平成3年度以降の近似直線及びその式より算出した。

(CHECK) 自己評価

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	動画を活用した自社ブランドの強化、販路拡大の一翼となっている。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	○ 適切である ● 見直しの余地がある	動画を作成するだけでなく、その動画をいかにPRに使い販路の拡大につなげていく必要がある。
有効性	③成果の向上余地がない か	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	さらなる制度の周知と活用提案を行う。
効率性	④成果を下げずに事業費を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	現状が最低限度の補助額である。
	⑤人員や実施形態は適正か	● 改善の余地がない ○ 改善の余地がある	徐々に定着しつつある事業のため、効率化に取り組むものの、現状が最低限度の人員である。
	⑥他自治体と連携できるか	● できない ○ できる	市内企業への支援のため、連携はできない。
	⑦官民協働できるか	● できない ○ できる	補助事業であるため。
	⑧地域の課題や実情に合わせた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	自社ブランドの強化及び販路の拡大を行うことで、地域経済の発展・雇用の拡大に寄与するため。



6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
自社PR動画の作成を行い、その動画を活用してブランド力の強化、販路拡大に繋げていくのだが、動画作成費用と、ゆめりあでの放映費のみが補助対象経費となっていたため、活用の幅が狭い。さらなる情報発信の手法が必要である。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

補助対象経費としてゆめりあでの放映費を廃止し、新たに動画付きウェブサイト作成委託費とした。 また、対象者について企業のみを支援対象にしてきたが、スケールメリットを活かせるよう、中小企業者によって組織された団体へも対象を拡大した。

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
情報発信では動画での発信は有効な手段である。ゆめりあだけでの放映費用の補助だけではなく、動画付きのウェブサイト作成に対しても支援をしていく。

(ACTION) 改善

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)			
所属長評価	新規事業のためなし	所属長評価	地域企業の技術力の高さを発信し、自社ブランドの強化、取引の拡大を図るためにも動画による情報発信は重要な要素となる。素晴らしい技術を持っているにも関わらず、情報発信が上手くできていない企業があるため、さらなる支援を行っていく必要がある。		
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止		

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

(PLAN) 計画

1. 基本事項

事務事業名	基盤産業強化のためのアドバイザー派遣事業			事務事業コード	121-204-42
総合計画	基本目標	1	いきいきと働き、活力とにぎわいのあるまち	担当課	商工観光課
	政策名	2	多様な連携を強化し、活力ある商工業を確立する	担当者	柏倉 正人
	施策名	1	商工業の振興	内線	258
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等					
予算・事務事業名	一般会計	7款1項2目	中小企業振興対策費	予算コード	01-070102-0002
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input checked="" type="radio"/> 期間限定 始期 28 年度 ~ 終期 32 年度 (独自事業は基本的に平成32年まで)				
	<input type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 年度~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	基盤産業強化のためのアドバイザーを企業へ派遣することで企業の課題解決(生産改善や販路拡大等)に向けた支援を行い、地域の中核企業の企業競争力の強化に寄与させる。	事業内容	企業へアドバイザーを派遣し、企業が抱える課題について、技術革新及び経営革新等の専門的な視点から適切な診断とアドバイスを行う。			
対象	市内に所在する中小企業基本法第2条第1項の製造業。					
目指す状態	課題解決に向けて専門家からの診断とアドバイスを受け、課題を解決することにより市場競争力のある企業が市内に増加することである。	実施形態	<input type="checkbox"/> 市直営 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()			

3. 実施状況

対象指標	指標名称	補助対象事業者数	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32見込
			実績	-	-	結果未公表				
説明(算式等)	日本標準産業分類大分類E(経済センサスより)		達成率							
活動指標	指標名称	アドバイザー派遣回数	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32計画
			実績	-	-	36				
説明(算式等)			達成率	-	-	100.0%				
成果指標	指標名称	課題解決件数	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32目標
			実績	-	-	3				
説明(算式等)			達成率	-	-	100.0%				
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)									
	<p>■トヨタ生産方式に精通した2名のアドバイザーによる生産工程の見直し、改善提案を行い、企業の抱える課題解決を行う。</p> <p>平成28年度は3社に対し各12回の派遣を行い、各社が抱える生産工程の課題について解決を行った。</p>									
成果(どのような状態になったか)	生産工程の見直し、改善により、新たな活スペースが生まれ、今後新規事業への取り組みが期待される。また、現場指導により無駄が取り除かれ、作業効率の向上が図られた。									

(DO) 実行

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	事業費の算出根拠(H28)	
事業費・・・①			1,800	1,800			歳入の積算内訳	
内訳	国庫支出金		1,800	1,800			地方創生加速化交付金	1,800
	県支出金							
	受益者負担							
	その他特財							
一般財源	0	0	0	0	0	0	主な歳出の内訳	
人件費・・・②	0	0	774	774	0	0	基盤産業強化のためのアドバイザー派遣事業委託料	1,800
内訳	正規職員(人)		0.10	0.10				
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,741			
費用合計(①+②)	0	0	2,574	2,574	0	0		
臨時嘱託等(人)								
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)								

(CHECK) 自己評価

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	<input checked="" type="radio"/> 結びついている <input type="radio"/> 見直しの余地がある	アドバイザーの適切な診断、アドバイスにより課題解決に結びついている。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	<input type="radio"/> 適切である <input checked="" type="radio"/> 見直しの余地がある	多くの企業に利用してもらう事に意味があるが、小規模の事業者になればなるほど、通常業務以外の時間を割くことができず、活用できずにいると考えられる。
有効性	③成果の向上余地がない か	<input type="radio"/> 向上の余地がない <input checked="" type="radio"/> 向上の余地がある	さらなる制度の周知と活用提案を行う。また小規模事業者に活用してもらうための手法が必要である。
効率性	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	<input checked="" type="radio"/> 削減の余地がない <input type="radio"/> 削減の余地がある	企業が抱える課題が多様であり、現状が最低限度の実回数である。
	⑤人員や実施形態は 適正か	<input checked="" type="radio"/> 改善の余地がない <input type="radio"/> 改善の余地がある	徐々に定着しつつある事業のため、効率化に取り組むものの、現状が最低限度の人員である。
	⑥他自治体と連携できる か	<input checked="" type="radio"/> できない <input type="radio"/> できる	市内企業への支援のため、連携はできない。
	⑦官民協働できるか	<input checked="" type="radio"/> できない <input type="radio"/> できる	委託事業のため官民協働となっている。
	⑧地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	<input type="radio"/> なっていない <input checked="" type="radio"/> なっている	アドバイザーの適切な診断、アドバイスにより課題解決に結びついており、企業競争力の強化につながっている。



6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
現在活用している企業は従業員100人を超えている企業であり、小規模企業に活用されていない。また1社あたりの利用回数の制限を設けていないため、課題解決に力を入れている企業のみ優先されている状況である。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

現時点ではないが、今後は同じ企業が2年連続で利用することができない等の制限を行っていく。
--

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
小規模の企業にも活用してもらえるようにトライアル利用という形で活用できるような仕組み作りを検討していく。また1社あたりの利用回数の制限を設け、企業とアドバイザーが直接契約を結び自社努力としていく方向に進めていく。

(ACTION) 改善

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)				
所属長評価	新規事業のためなし	所属長評価	地域企業の抱える課題は多様であり、大学工学部や工業技術センター等の支援機関のない当地域において、専門からのアドバイスは課題解決には必要不可欠である。小規模の企業に対しても活用してもらえるような仕組みを作り、なお一層の企業競争力の強化が必要である。			
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止			

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

(CHECK) 自己評価

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	新庄中核工業団地への優良企業の誘致と、既立地企業及び地場企業への支援により雇用の創出が図られ、施策に結びつく。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	定住人口増加には、雇用の受け皿となる企業の経営基盤と競争力強化が必須であり、適当である。
有効性	③成果の向上余地がない か	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	さらなる支援制度の拡充・創設や、産学官連携などの関係機関との連携強化により、成果の向上が期待される。
効率性	④成果を下げずに事業費を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	県外企業の誘致には相手方への訪問が必須であり、また、地場企業への金銭的支援も、企業立地による雇用創出には必要不可欠である。
	⑤人員や実施形態は適正か	○ 改善の余地がない ● 改善の余地がある	専任の企業相談員を配置しこれまで以上にスムーズな企業とのやり取りを行うことで、更なる事業成果の向上が期待できる。
	⑥他自治体と連携できるか	● できない ○ できる	新規立地の受け皿となる工業団地は市有地であり、市単独の補助制度等もあるため。
	⑦官民協働できるか	● できない ○ できる	立地企業に対して用地取得助成金などの支援制度があり、市直営で行うべき事業である。
	⑧地域の課題や実情に合わせた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	地域活性化に繋がる雇用創出・定住促進に寄与する事業であるため。



6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
未分譲区画がまだ3区画あることから、引き続き完売に向けて区画の大きさに合わせた企業誘致活動を行っていく必要がある。また、全国的に企業の優秀な人材の確保が難しくなっていることから、キャリア教育等を通して地域の企業の魅力を発信し、地元への就職を促すことで、人材の確保が容易であることを長所としてアピールできるよう施策を展開していく必要がある。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

企業誘致に関しての支援機関(日本立地センター等)や自動車や半導体等の産業に詳しい方を訪問し、最近の企業立地動向に関する情報収集を継続的に行い、立地の可能性のある企業を探る。
企業向け研修を年間を通して行うことで、企業従業員のスキルアップを支援する。
高校生を対象とした企業見学会や中学生を対象とした職業体験会(Shin-Job体験)等を行い、地元企業への就職を促す。U・J・Iターン向けの企業採用情報を市のウェブサイト等に掲載したり、関係機関に周知することで優秀な人材の確保に向けた情報提供を行っている。

(ACTION) 改善

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
域外企業や各種商談会への訪問を積極的に行い、企業誘致へつなげる。また、既存企業への支援を行うことで、取引先の企業誘致を促進させる。他事業、関連団体と連携し、企業見学会や職業体験会を通じ、企業(製造業等)と管内学生及び女性求職者とのマッチングを行うことで、優秀な人材の確保を行う。

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)			
所属長評価	新規立地企業が3社あり、中核工業団地の未分譲区画も残り少なくなってきたが、空き民有地も含めて引き続き積極的な企業誘致活動を行っていく。	所属長評価	新規立地企業が1社あり、昨年度立地した3社とも操業を開始した。中核工業団地の未分譲区画も残り少なくなってきたが、空き民有地や工業団地外の空き工場等も含め、引き続き積極的な企業誘致活動を行っていく。		
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止		

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	中小企業者へ融資を行うことによって企業が活性化しているため目的と施策が結びついている。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	○ 適切である ● 見直しの余地がある	現在の経済状況等を鑑み、貸付利率の適正化を図る必要がある。
有効性	③成果の向上余地がない か	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	地域の実態に合わせて制度の対象となる業種などの見直しを行い、対象となる範囲を増やすことにより、より活用しやすい制度となりうる。
効率性	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	市で行っている融資制度の原資の預託のため、事業費を下げれば成果も下がる。
	⑤人員や実施形態は 適正か	● 改善の余地がない ○ 改善の余地がある	県、保証協会、金融機関等との連携を図りながら行っている事業であるため、必要最小限の人員である。
	⑥他自治体と連携できる か	● できない ○ できる	市単独事業であること、対象が市内に事業所があることが条件であるため、連携はできない。
	⑦官民協働できるか	● できない ○ できる	市の保証制度であるため、官民協働には馴染まない事業である。
	⑨地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	課題のある中小企業者へ融資を行うことによって企業が活性化しているため、実情にあう事業となっている。

(CHECK) 自己評価

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
各制度融資の利率を引き下げたことで前年度より新規利用者数の増加が図れたものの、各金融機関ではプロパー融資が徐々に増えてきていることなどで、市制度融資が選ばれづらくなってきている。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

・各金融機関からの情報収集 ・他市町村で行っている制度融資の情報収集

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
多様な企業への融資に合わせ、業種の拡充等の検討が必要と思われるも、妥当性や金融機関の利益の損失等に対し慎重に関係機関と協議していく必要がある。

(ACTION) 改善

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)	
所属長評価	本市と同じような融資制度がある県内市や県への照会を行いながら、金利等についてより活用しやすい制度にするための制度見直しを慎重に行う必要がある。	所属長評価	金融機関の利益等に十分配慮する必要がある、今後も関係機関と密に連携し、利用件数の増加に向けて制度融資のあり方を検討していく必要がある。
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

(PLAN) 計画

1. 基本事項

事務事業名	各種保証制度保証料補給金			事務事業コード	122-202-42
総合計画	基本目標	1	いきいきと働き、活力とにぎわいのあるまち	担当課	商工観光課
	政策名	2	多様な連携を強化し、活力ある商工業を確立する	担当者	八鍬 光太郎
	施策名	2	企業の誘致と支援	内線	254
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等					
予算・事務事業名	一般会計	7款1項2目	金融対策事業費	予算コード	01-070102-0400
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input checked="" type="radio"/> 期間限定 始期 1 年度 ~ 終期 32 年度 (独自事業は基本的に平成32年まで)				
	<input type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 年度~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	中小企業者が融資制度を信用保証協会の保証付きで利用した場合、保証料負担を軽減し企業経営の安定を図る。	事業内容	市内の中小企業が、山形県商工業振興資金及び市単独融資制度を信用保証協会の保証付きで利用した場合、信用保証協会にその保証料の補給を行う。		
対象	中小企業者				
目指す状態	市内中小企業者の信用補完対策として、県と市が協調して企業の保証料負担の軽減を図る。	実施形態	<input type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	市内の中小企業	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32見込	
			実績	2,472	2,472	2,472					
説明(算式等)	統計でみる新庄市調べ		達成率								
活動指標	指標名称	新規保証承諾件数(件)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32計画	
			実績	114	95	113					-
説明(算式等)			達成率								
成果指標	指標名称	年間保証承諾件数(件)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32目標	
			実績	211	210	197					-
説明(算式等)			達成率								
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)										
	市内の中小企業数は、経済センサスによる調査であり、3年に一度調査のためH27、H28年度は同数。										
成果(どのような状態になったか)	市内の中小企業者が、山形県商工業振興資金及び市単独融資制度等を信用保証協会の保証付きで利用することにより、市が保証料の一部を補給し、企業の融資返済分が軽減され、中小企業の安定した経営が図られた。										

(DO) 実行

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	事業費の算出根拠(H28)		
事業費・・・①	19,860	17,664	15,749	18,500			歳入の積算内訳		
内訳	国庫支出金								
	県支出金								
	受益者負担								
	その他特財								
	一般財源	19,860	17,664	15,749	18,500	0	0	主な歳出の内訳	
人件費・・・②	156	156	156	310	0	0	山形県信用保証協会保証料補給金		
内訳	正規職員(人)	0.02	0.02	0.02	0.04			平均残高方式における保証料補給金	1,278
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,741			個別方式における保証料補給金	14,471
費用合計(①+②)	20,016	17,820	15,905	18,810	0	0			
臨時嘱託等(人)									
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)									

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	保証料の補給を行うことで中小企業経営の安定が図られている。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	保証料の補給を行うことで中小企業経営の安定が図られているため適切である。
有効性	③成果の向上余地がない か	● 向上の余地がない ○ 向上の余地がある	信用保証協会への保証料補給制度であるため成果の向上は難しい。
効率性	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	保証料補給制度であるため、削減できない。
	⑤人員や実施形態は 適正か	● 改善の余地がない ○ 改善の余地がある	県、信用保証協会と連携して行っている保証料補給制度であり、人員の削減余地はない。
	⑥他自治体と連携できる か	● できない ○ できる	県、信用保証協会と連携して行っている保証料補給制度であり、対象条件に合致することが前提であるため、他自治体と連携することはできない。
	⑦官民協働できるか	● できない ○ できる	県、信用保証協会と連携して行っている保証料補給制度であるため、官民協働には適合しない。
	⑨地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	本制度を活用した中小企業の経営安定に寄与しており、地域の課題・実状に全く合致している。

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
中小企業の経営を下支えする制度であり、よりPRすることで制度の周知を図り、企業からの利用数が増加することにより生産性向上が見込まれる。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

信用保証協会で作成しているチラシ・パンフレットを庁舎内へ設置・掲示。

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
保証協会が作成するチラシやパンフレットを庁舎内に設置し、また広報紙へ定期的に掲載することなどで、広くPRをすることが必要である。

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)	
所属長評価	引き続き、市内中小企業等の信用保証補完対策となる制度として活用していただけるようにPRも含めた周知活動を行っていく必要がある。	所属長評価	市内中小企業の信用保証補完対策に努め、各銀行と協力のもと周知活動を行っていくことが重要である。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

Table with 4 columns: 事務事業名, 基本目標, 政策名, 事業区分, etc. Content includes '新庄市卓越技能者表彰事業' and '新庄市卓越技能者表彰要綱'.

2. 事務事業の概要

Table with 2 columns: 目的, 対象, 実施形態. Content describes the goal of improving skill levels and lists implementation methods like '市直営' and '全部委託'.

3. 実施状況

Table with 10 columns for years H26-H31. Rows include '対象指標', '活動指標', '成果指標', and '補足説明'. Content shows performance metrics and award details.

4. 投入資源

Table with 7 columns for years H26-H31. Rows include '事業費', '内訳', '費用合計', and '事業費増減の理由'. Content details budget and personnel costs.

(PLAN) 計画

(DO) 実行

(CHECK) 自己評価

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	<input checked="" type="radio"/> 結びついている <input type="radio"/> 見直しの余地がある	本表彰により、技能者の意識高揚が図られ、更なる熟練技術水準の向上等、人材育成に繋がっている。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	<input checked="" type="radio"/> 適切である <input type="radio"/> 見直しの余地がある	本表彰により、技能者の意識高揚が図られ、更なる熟練技術水準の向上が図られているものの、若年者の意識啓発に関しては、事業効果が低い。
有効性	③成果の向上余地がない か	<input type="radio"/> 向上の余地がない <input checked="" type="radio"/> 向上の余地がある	年齢50歳以上の技能者を対象にした表彰制度であるが、若年者や中堅技能者等の年齢に幅を持たせた新たな表彰制度が必要である。
効率性	④成果を下げずに事業費を削減できないか	<input checked="" type="radio"/> 削減の余地がない <input type="radio"/> 削減の余地がある	必要最小限の事業費で運営しているため、事業費の削減はできない。
	⑤人員や実施形態は適正か	<input checked="" type="radio"/> 改善の余地がない <input type="radio"/> 改善の余地がある	必要最小限の事業費で運営しているため、事業費の削減はできない。
	⑥他自治体と連携できるか	<input checked="" type="radio"/> できない <input type="radio"/> できる	市内在住のすぐれた技能者を選出し表彰する事業であるため、連携は難しい。
	⑦官民協働できるか	<input checked="" type="radio"/> できない <input type="radio"/> できる	市長が卓越技能者を表彰する事業であるため、協働は難しい。
	⑧地域の課題や実情に合わせた事業となっているか	<input type="radio"/> なっていない <input checked="" type="radio"/> なっている	卓越技能者を表彰することで、更なる技能水準の向上が望めるため、地域の課題や実情に合致している。



6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
平成28年度での受賞者数は6名となり、昭和63年から実施して以来最多の受賞となった。また、推薦者の業種も幅広く、これまで問題として挙げられていた推薦者の業種の偏りという点が解決された。今後も継続的に多くの業種から受賞者を推薦いただくことで、業界としての意識高揚や技術向上を図ることが必要である。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

<ul style="list-style-type: none"> ・関係団体との情報交換。 ・これまで未推薦団体であったところには特に連絡を密に取っていく。
--

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
新庄商工会議所等関係団体と連携を密にすることで、より多くの業種から推薦者を募ることが求められる。

(ACTION) 改善

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)	
所属長評価	新庄商工会議所との連携を密にすることで、今まで推薦の無かった業種の会員を発掘していく考えである。	所属長評価	引き続き関係団体と連絡を密にし、これまで未推薦であった団体からも新規の推薦をいただけることが今後求められる。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

事務事業名	地元定着型キャリア教育推進事業			事務事業コード	123-103-42
総合計画	基本目標	1	いきいきと働き、活力とにぎわいのあるまち	担当課	商工観光課
	政策名	2	多様な連携を強化し、活力ある商工業を確立する	担当者	柿崎 恭平
	施策名	3	人材育成と就労支援	内線	258
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等					
予算・事務事業名	一般会計	7款1項2目	工業振興対策事業費	予算コード	01-070102-0200
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input checked="" type="radio"/> 期間限定 始期 27 年度 ~ 終期 32 年度 (独自事業は基本的に平成32年まで)				
	<input type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 年度~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	市内小中高生の地元企業への理解を促進させることで、若者の地元定着につなげるため。	事業内容	高等学校卒業後の進路として大学、専門学校等への進学が全体の3分の2を占める状況が続く中で、地元で高等教育機関がなく、地元就職をする若年者が少ないのが現状である。Uターン就職を進路の選択肢に入れてもらうためには子どもの頃から地元企業と触れる機会を数多く設ける必要があるため、市内小中高生の地元企業への理解と地元定着型キャリア教育の推進する。		
対象	新庄市内の小中高校に通う学生		実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()	
目指す状態	地元就職率の向上及び若者のUターン促進				

3. 実施状況

対象指標	指標名称	説明(算式等)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32見込	
				実績	達成率	実績	達成率	実績	達成率	実績	達成率
活動指標	見学ツアー参加者数	新庄市内の小中高校に通う学生の人数	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32計画	
			実績	4,972	4,783	4,658				4,000	
成果指標	就職者数のうち管内就職者割合の増減ポイント数(対H26年度卒業生)	「商工観光課「進路状況調査」	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32目標	
			実績	-	-0.7	-0.7				5	
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)										
	○高校生向け地元見学ツアー										
	参加生徒数:58名 見学企業数:9社(1班3社ずつ)										
	○子ども向け職業体験会「Shin-job体験」										
市内2中学校で開催 参加生徒数計:153名 参加企業数計:27社											
○山形県発明くふう展への協力											
応募点数:294点(うち小中高校生分:254点)											
H28.10.21~H28.10.23 新庄市民プラザにて開催											
成果(どのような状態になったか)	対H26年度管内就職者割合は昨年度と同様で、現状維持であった。一方、企業見学バスツアーの参加者が増加したことや、新規事業である「Shin-job体験」への関係機関からの関心が高いことから、地元就職に向けた機運が高まってきていると考える。										

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	事業費の算出根拠(H28)	
事業費・・・①		497	852	1,000			歳入の積算内訳	
内訳	国庫支出金		852				地方創生加速化交付金	852
	県支出金							
	受益者負担							
	その他特財							
一般財源	0	497	0	1,000	0	0	主な歳出の内訳	
人件費・・・②	0	937	1,703	1,703	0	0	山形県発明くふう展開催負担金	300
内訳	正規職員(人)	0.12	0.22	0.22			山形県発明くふう展会場使用料	74
	1人当たり単価	7,808	7,741	7,741			子供向け職業体験会開催負担金	178
費用合計(①+②)	0	1,434	2,555	2,703	0	0	学生向け企業見学バスツアー開催負担金	300
臨時嘱託等(人)								
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)	山形県発明くふう展が新庄市で開催されたことに伴う支出分増となった。							

(PLAN) 計画

(DO) 実行

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	地元企業の理解を促進させる施策を行っており、事業目的と合致しているため。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	対象に合わせた施策を行っており、目指す状態も明確であり、適切であるため。
有効性	③成果の向上余地がないか	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	新たに小中学生向けの事業を開始したが、今後継続するにあたって他機関と連携することややり方を見直すことで向上の余地があると考えられる。
効率性	④成果を下げずに事業費を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	効果が高く、継続性のある事業を取り組めるように試行している段階であるため、現段階での事業費の削減を行うことでは、十分な成果が生まれてこないため。
	⑤人員や実施形態は適正か	○ 改善の余地がない ● 改善の余地がある	現在は商工観光課主管で行っているものの、学校や学校教育関係課と連携しながら事業実施することで、継続的で効果の高い取組みが期待できるため。
	⑥他自治体と連携できるか	○ できない ● できる	若者の地元定着は、新庄市だけでなく、新庄・最上地域の課題であるため、最上8市町村で連携した取組みが必要である。 実際に一部の最上市町村圏事務組合の事業と連携した事業は行っている。
	⑦官民協働できるか	○ できない ● できる	産業教育協力企業を募り、子ども達のものづくり体験への協力を行っている。今後も地域の企業と地元の子も達が交流できる機会を多く設ける取組みを増やしていきたい。
	⑧地域の課題や実情に合わせた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	地元定着を促進させるためのキャリア教育が、中長期的な若者の地元定着につながっていくため。

(CHECK) 自己評価

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
キャリア教育の推進には「企業」「学校」「生徒」「保護者」の認識を一致させる必要があるが、これら4者が一同に会する機会はほとんどなく、認識に差異が生じたままになっている。特に、現在は人材不足が強く懸念されているにも関わらず「新庄には働く場所がない」といった考えが根強く残っており、こういった認識の差異を解消することが急務である。

8. 課題解決に向けた現時点における取組み状況

最上地区雇用対策協議会と連携し、PTA総会などの場をお借りして保護者向け説明会を実施できないか検討をしている。

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
生徒に対する事業展開を強化すると同時に、保護者を対象としキャリア教育について説明する機会を設ける。

(ACTION) 改善

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)	
所属長評価 若者の地元定着促進は、本市の重要課題の1つであり、早いうちから、地元企業との関わりをもつことが、地元定着につながっていく。今後は関係機関と連携しながら、より多くの子ども達に地元企業との接することができる取組みを行っていく。	所属長評価 人口減少が叫ばれる中、ひとりでも多くの若者が地元で定着するためにも、地元の優秀な企業について理解してもらうことは進路選択に際し大きな意味を持つ。進路を選択する以前の段階である小中学生向け施策を強化しつつ、保護者も一体となった事業を展開する必要がある。		
今後の方向性 <input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性 <input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止		

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

(PLAN) 計画

1. 基本事項

事務事業名	雇用対策事業			事務事業コード	123-201-42
総合計画	基本目標	1	いきいきと働き、活力とにぎわいのあるまち	担当課	商工観光課
	政策名	2	多様な連携を強化し、活力ある商工業を確立する	担当者	舟生 竜
	施策名	3	人材育成と就労支援	内線	259
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等					
予算・事務事業名	一般会計	5款1項1目	勤労者福祉対策事業費	予算コード	01-050101-0100
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input checked="" type="radio"/> 期間限定 始期 21 年度 ~ 終期 32 年度 (独自事業は基本的に平成32年まで)				
	<input type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 年度~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	経済・雇用情勢が厳しい中で、企業経営力の向上と求職者の雇用創出を図る。	事業内容	最上地域雇用創造推進協議会及び最上地区雇用対策協議会に負担金を支出し、会員として求職者のスキルアップセミナーや雇用の受け皿となる企業の経営改革セミナー、働きざかりの就職面談会、高校生の就職面談会の開催、高等学校進路指導担当との就職活動、企業視察の実施。 また、企業誘致を促進することにより、求職者に対する適切な雇用の場を提供すると同時に人材育成も含めた多角的な事業を展開することにより、地域経済の発展を促すことで雇用を創出する。			
対象	経営力向上を目指す企業と、新規・再就職を望む求職者。		実施形態	<input type="checkbox"/> 市直営	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 一部委託
目指す	企業の経営力向上と、求職者の人材育成による就職促進。			<input checked="" type="checkbox"/> 補助・負担	<input type="checkbox"/> 市民協働	<input type="checkbox"/> 指定管理
			<input checked="" type="checkbox"/> 事務局	<input type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	若年者(35歳未満)の新規求職申込者数(人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32見込		
			実績	1,687	1,451	1,266						1,700
説明(算式等)			達成率									
活動指標	指標名称	就職相談会開催数(回)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32計画		
			実績	3	2	2					3	
説明(算式等)			達成率	100.0%	66.7%	66.7%						
成果指標	指標名称	若年者(35歳未満)の新規就職者数(人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32目標		
			実績	800	734	673					950	
説明(算式等)			達成率	84.2%	77.3%	70.8%						
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)											
	○相談会・面談会の参加者内訳											
	相談会・面談会		利用者数	就職者数								
	合同就職面接会(2回)		127	29								
	県若者就職支援センター相談		52									
成果(どのような状態になったか)	相談会・面談会の実施により、新規高卒者の内定率(平成29年3月末時点)は98.7%、一般求職者は上記以外に開催されたセミナー利用者も含め、29名が就職につながっている。											

(DO) 実行

4. 投入資源

(単位:千円)

年 度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	事業費の算出根拠(H28)	
事業費 … ①	8,706	247	247	247			歳入の積算内訳	
内 訳	国庫支出金							
	県支出金	8,376						
	受益者負担							
	その他特財							
一般財源	330	247	247	247	0	0	主な歳出の内訳	
人件費 … ②	4,451	2,030	3,096	3,096	0	0	最上地域雇用創造推進協議会への負担金	167
内 訳	正規職員(人)	0.57	0.26	0.40	0.40		最上地区雇用対策協議会への負担金	80
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,741			
費用合計(①+②)	13,157	2,277	3,343	3,343	0	0		
臨時嘱託等(人)								
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)								

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	事業の成果として、新規卒者や一般求職者の就職に結びついている。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	経済・雇用情勢の厳しい中で、雇用の受け皿となる企業と、人材育成された求職者の双方を支援することは適当である。
有効性	③成果の向上余地がない か	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	より多くの企業と求職者が事業を利用することにより、マッチングの機会が多くなるため。
効率性	④成果を下げずに事業費を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	事業費の多くが国庫支出金であり、国庫支出金の対象とならない経費を県や市町村が負担しているため、削減は難しい。
	⑤人員や実施形態は適正か	● 改善の余地がない ○ 改善の余地がある	それぞれの担当する事業を協議会事務局や構成団体である県、市町村が担当して行うこととしており、現行が適正である。
	⑥他自治体と連携できるか	○ できない ● できる	広域での雇用対策を考えることが必要である。
	⑦官民協働できるか	○ できない ● できる	雇用のための情報提供は官が行い、民は雇用の受け皿となる役割分担があることで、雇用に結びつくと思われる。
	⑨地域の課題や実情に合わせた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	ハローワークや最上管内市町村との雇用実態等に関する情報を共有しながら、地域の課題や実情に合わせた雇用対策事業を行っている。

(CHECK) 自己評価

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
年間を通して有効求人倍率が1倍を超え、平成29年3月末時点では1.26倍となった。しかし高い水準で推移した理由の一つとして、求職者数の減少があげられる。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

年2回の「求人企業とのマッチング事業」(面談会)について、山形、読売、毎日の3社の新聞に折り込みチラシを入れるなど、情報発信の徹底を行う。

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
全国的に人手不足となっている現状もあるが、その中であってもより多くの求職者とのマッチングを図るため、情報発信の強化が求められる。

(ACTION) 改善

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)	
所属長評価	求職者向けのセミナーや相談会等を開催することで知れたニーズに合致するような企業に声をかける等して、マッチングがより多く達成できるようにすることが必要である。	所属長評価	求職者(参加者)の増加も課題であるが、企業のニーズもしっかりと把握したうえで、より多くのマッチングが達成できるように努めることが必要である。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

(CHECK) 自己評価

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	○ 結びついている ● 見直しの余地がある	未組織労働者への融資が円滑に行われるよう、利用しやすい融資制度の見直しが必要である。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	○ 適切である ● 見直しの余地がある	未組織労働者への融資が円滑に行われるよう、利用しやすい融資制度の見直しが必要である。
有効性	③成果の向上余地がない か	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	広く周知を行いより一層の制度利用を促進することにより、未組織労働者の経済的、社会的な面での支援が図られる。
効率性	④成果を下げずに事業費を削減できないか	○ 削減の余地がない ● 削減の余地がある	他市の動向を調査のうえ、実績に合わせ削減できる。
	⑤人員や実施形態は適正か	● 改善の余地がない ○ 改善の余地がある	必要最小限の人員で運営しているため、改善の余地はない。
	⑥他自治体と連携できるか	● できない ○ できる	市内の未組織労働者を対象としているため、連携はできない。
	⑦官民協働できるか	● できない ○ できる	東北労働金庫新庄支店との連携により、未組織労働者への融資制度であるため、官民協働は考え難い。
	⑧地域の課題や実情に合わせた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	H27年度の融資残高が11,880千円となっている



6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)

未組織労働者に対し、十分な周知がなされていないため、預託金に見合った融資利用がなされていない。また、制度の見直しも必要と思われる。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

他市の動向と、これまでの融資実績を勘案し、預託金の1000万円減額を行う。また、利用しやすいように生活資金の融資だけでなく自動車資金・教育資金・福祉資金を追加し4つの制度を導入。

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)

利用率を上げるためにも、制度の周知を十分に行うことが必要である。また、利用しやすいように融資制度の見直しを図るとともに、他市の動向やこれまでの融資実績から預託金の見直しも行う。

(ACTION) 改善

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)	
所属長評価	未組織労働者への周知をさらに高めていくことで、市民の安定的な生活を促進していくことが重要である。	所属長評価	預託金の額及び融資制度の見直しを図るとともに、利用者拡大のため周知を強化し、市民の安定的な生活を促進していくことが重要である。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

(PLAN) 計画

1. 基本事項

事務事業名	新庄まつり実行委員会運営事業			事務事業コード	131-101-42
総合計画	基本目標	1	いきいきと働き、活力とにぎわいのあるまち	担当課	商工観光課
	政策名	3	地域資源を磨き、魅力ある観光産業を確立する	担当者	長倉 薫
	施策名	1	地域資源の磨き出しと活用	内線	251
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等					
予算・事務事業名	一般会計	7款1項3目	新庄まつり振興事業費	予算コード	01-070103-0102
事業期間	○ 単年度		事業年度 平成 年度	(1年限りの事業)	
	● 期間限定		始期 年度 ~ 終期 32 年度	(独自事業は基本的に平成32年まで)	
	○ 単年度繰り返し(継続)		開始年度 平成 年度 ~	(期限の定めのない事業)	

2. 事務事業の概要

目的	新庄まつりにより交流人口の拡大を図る。	事業内容	広報宣伝、行列全般の調整・運営、まつり関係団体への支援、観覧客整理や交通安全対策について、主催となる「新庄まつり実行委員会」に負担金を支出し、官民協働で実施する。		
対象	市民、観光客				
目指す状態	新庄まつりの安全かつ円滑な運営及びまつり実施による更なる観光振興と地域活性化を図る。	実施形態	<input type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・負担 <input checked="" type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	人出数(千人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32見込
活動指標	指標名称	実行委員会(専門部会)会議数	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32計画
	実績	8	31	19						20
成果指標	指標名称	人出数(千人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32目標
	実績	525	510	510						1,000
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)									
	※参考 H27 H28 前年比 8/24 19.0 21.0 2.0 110.5% 8/25 20.0 18.0 △ 2.0 90.0% 8/26 12.0 12.0 0.0 100.0% 合計 51.0 51.0 0.0 100.0%									
成果(どのような状態になったか)	昨年同様に観光客や市民から好評を得た。山車運行については、自主警備体制などを強化し、安全かつ円滑な運営が行われた。									

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	事業費の算出根拠(H28)		
事業費 … ①	14,640	29,683	24,813	31,503			歳入の積算内訳		
内訳	国庫支出金						まちづくり応援基金繰入金		6,000
	県支出金								
	受益者負担								
	その他特財		10,000	6,000					
	一般財源	14,640	19,683	18,813	31,503	0	0	主な歳出の内訳	
人件費 … ②	11,556	13,586	14,243	14,243	0	0	新庄まつり実行委員会負担金		24,813
内訳	正規職員(人)	1.48	1.74	1.84	1.84				
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,741				
費用合計(①+②)	26,196	43,269	39,056	45,746	0	0			
臨時嘱託等(人)									
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)									

(DO) 実行

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	市最大のイベントである新庄まつりの実施により、交流人口の拡大となっている。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	○ 適切である ● 見直しの余地がある	新庄まつりの安全かつ円滑な運営により、まつりが実施されることにより観光振興と地域活性化を図られる。
有効性	③成果の向上余地がない か	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	ユネスコ無形文化遺産登録を機会に更なる充実を図る必要がある。
効率性	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	今後の観光客の増加に対応するため、警備費等の増額せざるをえない状況にある。
	⑤人員や実施形態は 適正か	○ 改善の余地がない ● 改善の余地がある	観光客の増加とともに業務量は増加しているが、実行委員会内の役割分担により改善していくことも今後の課題である。
	⑥他自治体と連携できる か	○ できない ● できる	新庄市のほか、ユネスコ無形文化遺産登録となっている自治体との連携を模索している。
	⑦官民協働できるか	○ できない ● できる	実行委員会であるため官民協働で行われている。
	⑧地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	実行委員は、氏子総代会、山車連盟、囃子連盟などまつり関係者で構成されており、祭り後に実行委員会の下部組織である専門分会において、改善が行われている。

(CHECK) 自己評価

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
ユネスコ無形文化遺産登録を機に、更なる新庄まつりのPRと誘客を行うため、内容の充実を図る必要がある。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

○ユネスコ無形文化遺産登録による誘客を視野に入れ、山車・囃子若連の更なる充実を目的に交付金の増額を行った。
○後まつりに行っている「飾り山車」の開始時間前倒しと時間帯延長、山車解説や囃子体験など内容の充実を図った。
「新庄まつり×他地域の祭りとの交流」から「新庄まつり若連×観光客との交流」へ展開することで観光客に愛着を持っていただき、リピーターを増やししながら新庄まつり誘客百万人構想の実現に向けて取り組んだ。

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
○山車・囃子若連の更なる充実を目的に交付金を増額する。 ○後まつりに行っている「飾り山車」の開始時間前倒しと時間帯延長、山車解説や囃子体験など内容の充実を図る。

(ACTION) 改善

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)	
所属長評価	新庄まつり実行委員会の設立により、専門部会を中心に祭り団体の意見を十分に取り入れ、祭り運営を行うことができたことから、今後も実行委員会への支援を行っていく。 また、ユネスコ無形文化遺産登録を誘客の最大の機会と捉え、観光誘客につなげる取り組みを着実に進めていく必要がある。	所属長評価	ユネスコ無形文化遺産登録を誘客の最大の機会と捉え、観光誘客につなげる取り組みを着実に進めていく必要がある。また、ユネスコ登録により混雑が予想されることから、安全対策について万全を期すよう、警備態勢など新庄まつり実行委員会を支援していく必要がある。
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	当該補助制度により、新庄まつりを維持する山車・囃子の全若連が新庄まつりに参加するための基盤を確立している。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	新庄まつりを支える若連への財政支援によりまつりの継承に寄与する。
有効性	③成果の向上余地がない か	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	成果をより高めるためには、補助率や限度額の引き上げも考える必要がある。
効率性	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	事業費の全てが、まつりに参加する際に必要とされるものであり、削減は難しい。
	⑤人員や実施形態は 適正か	● 改善の余地がない ○ 改善の余地がある	適正な審査・交付を行わなければならないため、直営で行う必要があり、必要最小限の人員である。
	⑥他自治体と連携できる か	● できない ○ できる	目的も対象も、他自治体とは一切関連がない。
	⑦官民協働できるか	● できない ○ できる	補助金の交付であり、官民協働を検討する類の業務ではない。
	⑧地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	財政難の地域(若連)に、まつりの継承と保存のための財政支援ができていないため。

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
伝統ある新庄まつりの正統な継承と保存を目的として、現行の制度を維持、もしくは補助率の引き上げや補助対象経費(種類)の増設を検討すべきである。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

山車若連・囃子若連に補助事業を周知したうえで補助要望調査を実施し、各若連へ適正に補助金を交付している。

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
整備のための予算を確保する。

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)	
所属長評価	財政的に厳しい団体(若連)が多くなり、国指定の文化財としてまつりの継承・伝承していくためには制度の充実を図らなければならない。	所属長評価	人口減少に伴い財政的に厳しい団体が出てきており、文化財としてまつりの継承・伝承していくためには制度の充実を図らなければならない。
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

(PLAN) 計画

1. 基本事項

事務事業名	日本の伝統まつりポスターコンクール実行委員会運営事業			事務事業コード	131-103-42
総合計画	基本目標	1	いきいきと働き、活力とにぎわいのあるまち	担当課	商工観光課
	政策名	3	地域資源を磨き、魅力ある観光産業を確立する	担当者	齋藤泰良
	施策名	1	地域資源の磨き出しと活用	内線	252
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等					
予算・事務事業名	一般会計	7款1項3目	観光振興対策事業費	予算コード	01-070103-0101
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input checked="" type="radio"/> 期間限定 始期 23 年度 ~ 終期 32 年度 (独自事業は基本的に平成32年まで)				
	<input type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 年度~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	国内各地で開催されている伝統のまつりをPRするために作成した広報用ポスターを一堂に集めて展示することにより、それぞれの伝統まつりの相互理解を深め、交流人口拡大による地域の活性化を図ることを目的とする。	事業内容	国内各地で開催されている伝統のまつりの広報用ポスターを一堂に集めて展示する。また、早稲田大学名誉教授・吉村作治氏を審査委員長として大賞、準大賞、優秀賞を含めた100点の入選作品を決定する。		
対象	日本国内各地で開催されている概ね50年以上の歴史を有するまつり、もしくは国または都道府県の重要無形民俗文化財に指定されているまつりを主催する地方公共団体や保存団体、実行委員会等の団体が広報・宣伝のために製作したポスター。				
目指す状態	全国各地の伝統まつりの相互理解が深まり、交流人口拡大により地域の活性化が図られる。		実施形態	<input type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()	

3. 実施状況

対象指標	指標名称	説明(算式等)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32見込	
				実績	92	82	87				100
活動指標	事業広報回数	HP、DM、新聞、市報、かわら版	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32計画	
			実績	5	5	5				5	
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%					
成果指標	応募作品数(団体)		年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32目標	
			実績	92	82	87				100	
			達成率	46.0%	41.0%	43.5%					
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)										
成果(どのような状態になったか)	大賞に輝いた佐賀県唐津市では、「唐津くんち」の開催と受賞が重なり、地元紙、地元テレビ局でも大々的に取り上げられた。ユネスコ無形文化遺産となった「山・鉾・屋台行事」関連自治体との交流も拡大し、新庄市のPRにもつながった。										

(DO) 実行

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	事業費の算出根拠(H28)	
事業費・・・①	600	600	460	460			歳入の積算内訳	
内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	受益者負担							
	その他特財							
一般財源	600	600	460	460	0	0	主な歳出の内訳	
人件費・・・②	2,577	2,342	2,322	2,322	0	0	実行委員会への負担金	
内訳	正規職員(人)	0.33	0.30	0.30	0.30			460
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,741			
費用合計(①+②)	3,177	2,942	2,782	2,782	0	0		
臨時嘱託等(人)	0.00	0.00	0.00					
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)								

(CHECK) 自己評価

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	<input checked="" type="radio"/> 結びついている <input type="radio"/> 見直しの余地がある	各地の広報ポスターに触れることにより、地域資源である新庄まつりの価値を再認識することができ、施策に結びついている。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	<input checked="" type="radio"/> 適切である <input type="radio"/> 見直しの余地がある	伝統まつりへの理解と、コンクールを通じた自治体との交流が生まれている。
有効性	③成果の向上余地がない か	<input type="radio"/> 向上の余地がない <input checked="" type="radio"/> 向上の余地がある	コンクール自体の知名度向上により、応募数の増加が見込まれる。
効率性	④成果を下げずに事業費を削減できないか	<input type="radio"/> 削減の余地がない <input checked="" type="radio"/> 削減の余地がある	表彰式、交流会を廃止したため展示に特化した事業とし、削減は可能である。
	⑤人員や実施形態は適正か	<input type="radio"/> 改善の余地がない <input checked="" type="radio"/> 改善の余地がある	過去の応募団体について随時情報の更新が必要である。更新せずに事業を継続しているため効率が悪くなっている。
	⑥他自治体と連携できるか	<input type="radio"/> できない <input checked="" type="radio"/> できる	受賞団体(自治体)との巡回展示で連携の余地がある。
	⑦官民協働できるか	<input type="radio"/> できない <input checked="" type="radio"/> できる	審査会はその形態で行っている。
	⑧地域の課題や実情に合わせた事業となっているか	<input type="radio"/> なっていない <input checked="" type="radio"/> なっている	交流の拡大という点で課題が残る。



6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
応募数は若干増加し、初めて京都府からの応募があった。地域ごとに見ると岐阜県、愛知県からの応募数も多く、西日本での知名度は確実に向上している。「山・鉾・屋台行事」のユネスコ無形文化遺産登録に向けて関連団体への周知・PRを行ったところ、新規の応募も増加した。無形文化遺産登録を契機として引き続き応募数の増加、地域の盛り上りの醸成に取り組む必要がある。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

募集案内送付団体の情報更新及び、都道府県観光主管部署を含む送付リストの作成を行い、新規団体からの応募数を増やすために取り組んでいる。また、「山・鉾・屋台行事」関係団体への情報提供も行う。

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
過去6回の開催により、応募団体のデータは蓄積されているが、情報の更新がなされていないため、現在では事務局が変わっている団体が見受けられた。募集案内を送付する団体の情報を更新し、より効率的な作品の集約を行う。

(ACTION) 改善

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)	
所属長評価	新庄まつり100万人構想、ユネスコ無形文化遺産登録に向け推進すべき事業であり、今後はインバウンド事業との連携を検討していく必要がある。	所属長評価	平成29年5月に関係自治体で構成される「山・鉾・屋台行事観光推進ネットワーク」が立ち上がった。更なる交流の拡大に向けて、関係自治体との連携も視野に入れて事業を進めていく必要がある。
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

(PLAN) 計画

1. 基本事項

事務事業名	新庄味覚まつり実行委員会運営事業			事務事業コード	131-201-42
総合計画	基本目標	1	いきいきと働き、活力とにぎわいのあるまち	担当課	商工観光課
	政策名	3	地域資源を磨き、魅力ある観光産業を確立する	担当者	柏倉敏彦
	施策名	1	地域資源の磨き出しと活用	内線	249
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等					
予算・事務事業名	一般会計	7款1項3目	観光振興対策事業費	予算コード	01-070103-0101
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input type="radio"/> 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 (独自事業は基本的に平成32年まで)				
	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 20 年度 ~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	新庄の伝統的又は個性的な食や特産品を再確認するとともに、新庄への来街者に紹介し、本地域の食文化や物産についての理解を求め、地域間交流の促進を図る。	事業内容	食・イベント関係の企画出店の調整、広報宣伝、開催当日の来場者警備に関し、新庄味覚まつり実行委員会に負担金を支出し、官民協働でイベントを開催し、新庄の食をPRする。 さらに、第10回味覚まつりでは民間主導での開催に向け段階的に取り組みを進める。
対象	市民、観光客		
目指す状態	新庄の地元素材とそれを活用した食を市中心商店街を会場に展開し、物産の振興とともに地域活性化、観光交流を進展させる。	実施形態	<input type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・負担 <input checked="" type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()

3. 実施状況

対象指標	指標名称	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32見込	
			実績							
活動指標	指標名称 出店者数(件)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32計画	
		実績	27	50	53					
		達成率	90.0%	166.0%	176.0%					
成果指標	指標名称 来場者数(人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32目標	
		実績	29,150	33,000	36,000					
		達成率	80.9%	100.0%	109.0%					
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)									
成果(どのような状態になったか)	年々出店者数が増加しており、それに伴い来場者数も増加している。結果として、新庄の「食」や特産品を市民及び近隣地域からの観光客に紹介し、当地域の食文化や物産について理解を深める機会が創出されている。									

(DO) 実行

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	事業費の算出根拠(H28)	
事業費・・・①	700	700	700	700			歳入の積算内訳	
内訳	国庫支出金			700			加速化交付金	700
	県支出金							
	受益者負担							
	その他特財							
一般財源	700	700	0	700	0	0	主な歳出の内訳	
人件費・・・②	5,075	5,700	4,722	4,722	0	0	新庄味覚まつり実行委員会負担金	700
内訳	正規職員(人)	0.65	0.73	0.61	0.61			
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,741			
費用合計(①+②)	5,775	6,400	5,422	5,422	0	0		
臨時嘱託等(人)								
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)								

(CHECK) 自己評価

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	<input checked="" type="radio"/> 結びついている <input type="radio"/> 見直しの余地がある	本まつりを実施することで本地域の食文化に対する理解が深まるとともに、地域独自の食をメインとした交流の推進が図られている。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	<input checked="" type="radio"/> 適切である <input type="radio"/> 見直しの余地がある	本地域の食文化への市民の理解が深まるとともに、他地域との観光交流の進展が図られている。
有効性	③成果の向上余地がない か	<input type="radio"/> 向上の余地がない <input checked="" type="radio"/> 向上の余地がある	出店者の増加、広報範囲の拡大によってまつり規模の拡大及び来訪者の増加が見込まれる。
効率性	④成果を下げずに事業費を削減できないか	<input checked="" type="radio"/> 削減の余地がない <input type="radio"/> 削減の余地がある	事業費の多くが、広報費と物品の借上げに要する経費となっており、まつりの拡大を目指すうえで削減は難しい。
	⑤人員や実施形態は適正か	<input checked="" type="radio"/> 改善の余地がない <input type="radio"/> 改善の余地がある	食関連団体及び中心商店街と一体となった実行委員会により、企画・運営等を実施しており、現在も官民協働での運営に努めている。
	⑥他自治体と連携できるか	<input type="radio"/> できない <input checked="" type="radio"/> できる	現在も市内はもとより郡内、隣県の大崎地域、雄勝地域の自治体を通じて出展を呼びかけしていただき、出店数も増加している。また、高萩からも毎年出店していただいている。
	⑦官民協働できるか	<input type="radio"/> できない <input checked="" type="radio"/> できる	既に官民一体となった実行委員会により運営している。
	⑧地域の課題や実情に合わせた事業となっているか	<input type="radio"/> なっていない <input checked="" type="radio"/> なっている	地域の食材、味覚をテーマとしたまつりであり、農林水産業並びに飲食店振興にも結び付くものであり、交流人口の拡大にも寄与している。



6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
昨年度に引き続き、駅前通り、南本町通りを歩行者天国にして開催し、駅前から南本町への回遊性を高めるため本部にてラジオの公開生放送を実施し、「ロケット団」による出店者へのインタビューも実施。双方の通りへの回遊性を高めるためイベントも実施し、過去最高の出店数、販売金額、来場者数を記録した。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

・FPの活用 ・マスメディアの有効活用

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
H28で9回目を迎えたこともあり、認知度も高まってきており、市内及び最上地域のみならず、他地域からの来場者も増加してきていることは喜ばしい。 食と合わせた回遊性を高めるための集客方法を更に検討していく。

(ACTION) 改善

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)	
所属長評価	開催エリアを駅前、南本町に限定し、昨年度実施しなかった歩行者天国を再開した。こうしたことから来訪者の回遊性が以前よりも高まり、過去最高の売り上げ、来訪者を記録したところである。今後更に拡大を図っていくために、有名店の出店についても交渉を行い、秋の味覚を満喫していただけるよう実施していかなければならない。	所属長評価	前年度に増して、出店数、販売額、来場者数ともに、過去最高を記録したことは、成果の拡大ととらえている。 年々、地域外からの出店や来場者も増加してきておりこれまでの広報の方法が功を奏したものと考えている。今後とも官民一体となりまつりを大きくしていかなければならない。
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

(CHECK) 自己評価

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的妥当性	①事務事業の目的が施策に結びついているか	<input checked="" type="radio"/> 結びついている <input type="radio"/> 見直しの余地がある	商品かされたツアーが催行された場合の受け入れ態勢が充実。今後もツアー商品の造成に結び付けていく。
	②対象や目指す状態が適当であるか	<input checked="" type="radio"/> 適切である <input type="radio"/> 見直しの余地がある	地域内の交流人口の拡大は難しいものの、他の地域から特に都市部やインバウンドの拡大を目指すうえで適切である。
有効性	③成果の向上余地がないか	<input type="radio"/> 向上の余地がない <input checked="" type="radio"/> 向上の余地がある	商品造成はもちろんのこと、今後も交流人口の拡大につながり、大いに向上が望めるものである。
効率性	④成果を下げずに事業費を削減できないか	<input checked="" type="radio"/> 削減の余地がない <input type="radio"/> 削減の余地がある	目に見えた効果を上げる必要がある。
	⑤人員や実施形態は適正か	<input checked="" type="radio"/> 改善の余地がない <input type="radio"/> 改善の余地がある	現段階では、実施形態の改善の余地はない。
	⑥他自治体と連携できるか	<input type="radio"/> できない <input checked="" type="radio"/> できる	広域的なつながりや他自治体にある事業者等と結びつき、連携していければ更なる拡大も期待できる。
	⑦官民協働できるか	<input type="radio"/> できない <input checked="" type="radio"/> できる	平成28年度に実施し、成果があった。
	⑧地域の課題や実情に合わせた事業となっているか	<input type="radio"/> なっていない <input checked="" type="radio"/> なっている	実施形態は、適正である。

(ACTION) 改善

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
他事業との連携もあり、「雪国ワンダーランド」の設備、環境が整備された。ツアーでの参加者は少なかったものの、外国からの教育旅行者も含め、昨年度の2倍を超える体験者数となった。今後は、平日運営、利用料金について再検討し、受け入れ態勢を整備、充実を図り、更なる交流人口拡大につなげて行かなければならない。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

既存のツアー(「最上川舟くんだり」等)との連携による新たなツアー商品の造成。また、市内関係団体の雪関連商品と連携を図る。
--

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
他機関とも連携を図り、運営日等も含めた受け入れ態勢を再検討していく。雪国ワンダーランドと既存の「最上川舟くんだり」等と連携を図り、ツアー商品化を目指していくとともに、インバウンド旅行会社への売込みを図りながら、更なる交流人口に結び付けていく。

9. 所属長評価及び今後の方向性

	前回の評価	所属長評価	今回の評価(H28実績評価)
所属長評価	今後更なる交流人口拡大を図るためにも、昨年度取り組んだ雪国ワンダーランドも含め関係団体等とのより一層の連携を図り、交流人口の拡大に結び付けていく必要がある。	所属長評価	昨年度に加え、設備、受け入れ態勢を充実させ「雪国ワンダーランド」を運営した。今後は雪国ワンダーランドを含めたツアー商品化に向け、関係団体等とのより一層の連携を図り、交流人口の拡大に結び付けていく必要がある。
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	本事業をとおり、地域資源を活用した観光産業につながっている。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	市民はもちろん、県内・県外の観光客誘客につながり妥当である。
有効性	③成果の向上余地がない か	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	イベントにおける集客に頼っている部分が大きく、これからの通年観光を整備しながら、まちなかに賑わいを創出する事業を考えていく必要がある。
効率性	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	新庄駅降客のためのまちなか誘導策が整っていないため、継続する必要がある。
	⑤人員や実施形態は 適正か	○ 改善の余地がない ● 改善の余地がある	商店会連合会の積極的参加があれば多少余地がある。
	⑥他自治体と連携できる か	○ できない ● できる	広域観光、周遊性の促進により、まちなか観光への誘客を呼び込むことができる。
	⑦官民協働できるか	○ できない ● できる	JR東日本、商工会議所、観光協会、商店会連合会、NPO等との連携は不可欠である。
	⑧地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	観光客を中心商店街へ呼び込み、通年型まちなか観光へ発展させていくことは大きな課題である。

(CHECK) 自己評価

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
イベントにおける集客に頼っている部分が大きく、これからの通年観光を整備しながら、まちなかに賑わいを創出する事業を考えていく必要がある。また、新庄駅降客のためのまちなか誘導策がまだまだ不十分のため、JRや商店会連合会等と連携強化する必要がある。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

まちなか誘客の最終的な目的達成までは、まだまだ時間を要するが、できることから実施していく必要がある。おもてなし事業の継続、イベント集客の増強、JRと連携したスタンプラリーの実施などにより、まちなか誘客に取り組む。
--

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
JRや商店会連合会等と連携強化し、新庄駅降客のまちなか誘導策を検討する。また、今後の通年観光も併せて検討する。

(ACTION) 改善

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)	
所属長評価	山形デスティネーションキャンペーン後も本事業を継続し、まちなかに観光客を誘導し賑わいを創出するとともに、商店街の活性化を図っていく必要がある。	所属長評価	本事業の継続によって、まちなかに観光客を誘導し賑わいを創出するとともに、商店街の活性化を図っていく必要がある。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

(CHECK) 自己評価

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	<input checked="" type="radio"/> 結びついている <input type="radio"/> 見直しの余地がある	数多くのイベントへ参加することによって、注目を集め新庄の魅力を発信している。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	<input checked="" type="radio"/> 適切である <input type="radio"/> 見直しの余地がある	平成29年度から地域おこし協力隊とかむてんのブランディングを行い全国へ発信し、更なるファンの獲得に向け努めていく。
有効性	③成果の向上余地がない か	<input type="radio"/> 向上の余地がない <input checked="" type="radio"/> 向上の余地がある	本事業ではさまざまな活動が可能であり、成果の向上余地は十分に考えられる。
効率性	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	<input checked="" type="radio"/> 削減の余地がない <input type="radio"/> 削減の余地がある	現状、イベント参加のための最低限の旅費やノベルティグッズ購入費が計上されているだけであり、これ以上の削減は難しい。
	⑤人員や実施形態は 適正か	<input checked="" type="radio"/> 改善の余地がない <input type="radio"/> 改善の余地がある	0.05人分でありこれ以上の削減の余地はない。
	⑥他自治体と連携できる か	<input checked="" type="radio"/> できない <input type="radio"/> できる	他市町村のキャラクターと共同のイベント実施などは可能と思われるが、本市のイメージキャラクターであるため運営・管理までは連携できない。
	⑦官民協働できるか	<input type="radio"/> できない <input checked="" type="radio"/> できる	アクターなどは可能と思われるが、ボランティアでは質が担保できないと考える。委託先が見つからず、運営管理については検討中。
	⑧地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	<input type="radio"/> なっていない <input checked="" type="radio"/> なっている	まちなかの活性化や情報発信力の強化は本市の課題であり、合致している。



6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
年間のキャラクターイラストの利用及び着ぐるみ貸出申請件数は、昨年より下がったものの、かむてんの露出を増やすため、各種イベントに積極的参加し今回初めて全国的なイベントに出演しかむてんの魅力を発信できた。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

地域おこし協力隊と連携し、かむてんのブランディング及び魅力を発信させるため、イベントへの参加を行う。
--

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
情報発信力を高めまちなかへの賑わいを生み出すために地域おこし協力隊と協力し、かむてんのブランディングを行い全国へ発信する。

(ACTION) 改善

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)	
所属長評価	中心市街地への観光案内看板設置などハード面は積極的な活動ができたが、今後は着ぐるみ、動画等を活用し、積極的にかむてんによるまちづくりをアピールしていく。	所属長評価	今後は地域おこし協力隊とブランディングを行い、積極的にかむてんによるまちづくりをアピールしていく。
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

(PLAN) 計画

1. 基本事項

事務事業名	登山道刈り払い事業			事務事業コード	131-301-42
総合計画	基本目標	1	いきいきと働き、活力とにぎわいのあるまち	担当課	商工観光課
	政策名	3	地域資源を磨き、魅力ある観光産業を確立する	担当者	齋藤 一成
	施策名	1	地域資源の磨き出しと活用	内線	252
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等					
予算・事務事業名	一般会計	7款1項3目	観光基盤整備事業費	予算コード	01-070103-0200
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input checked="" type="radio"/> 期間限定 始期 年度 ~ 終期 32 年度 (独自事業は基本的に平成32年まで)				
	<input type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 年度 ~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	登山道の安全を確保し登山客・ハイカー等の利用を促進する。	事業内容	国定公園内刈り払い: 自然公園管理人 国定公園外刈り払い: 地元関係者などに業務委託		
対象	山岳愛好者				
目指す状態	立ち木の枝や雑草から登山道を守り、登山者が安全に登山できる状態を維持する。	実施形態	<input type="checkbox"/> 市直営 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	神室山系登山客数(百人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32見込	
			実績	223	223	223					250
説明(算式等)	達成率										
活動指標	指標名称	登山道刈り払い距離数(km)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32計画	
			実績	47	47	47				47	
説明(算式等)	達成率	100.0%	100.0%	100.0%							
成果指標	指標名称	神室山系登山客数(百人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32目標	
			実績	223	223	223				250	
説明(算式等)	達成率	89.2%	89.2%	89.2%							
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)										
	○登山口別登山者数(百人)										
		H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32			
	土内口	93	93	93							
	萩野口	130	130	130							
	計	223	223	223	0	0	0	0			
成果(どのような状態になったか)	登山道の刈り払いにより、登山客にとって安全、快適な登山道を確保することができ、事故防止とともに登山客数の維持につながった。										

(DO) 実行

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	事業費の算出根拠(H28)	
事業費・・・①	1,088	1,088	1,088	1,088			歳入の積算内訳	
内訳	国庫支出金							
	県支出金	685	685	685			(県単)自然公園登山道刈払事業委託	685
	受益者負担							
	その他特財							
一般財源	403	403	403	1,088	0	0	主な歳出の内訳	
人件費・・・②	3,748	3,826	3,793	3,793	0	0	刈払委託料	
内訳	正規職員(人)	0.48	0.49	0.49	0.49		国定公園内 @8,840×75日	663
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,741		国定公園外 @8,500×50日	425
費用合計(①+②)	4,836	4,914	4,881	4,881	0	0		
臨時嘱託等(人)								
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)								

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	登山道の安全を確保し、観光等の振興に資するとともに、豊かな自然環境の保護にも寄与している。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	登山道の維持管理のために、刈り払い受託者や関係機関との打ち合わせ・連絡などを適切に行っている。
有効性	③成果の向上余地がない か	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	登山道のみならず、もっと広範囲で適切な刈り払いを行うことができれば、さらなる観光客の増加が見込まれる。
効率性	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	受託者も高齢化が進み、受託者が変わった場合、逆に事業費の増加が予想される。
	⑤人員や実施形態は 適正か	● 改善の余地がない ○ 改善の余地がある	県から委託を受けている部分もあり、直営で行う最小限の人員で実施している。
	⑥他自治体と連携できる か	● できない ○ できる	それぞれの自治体が、その自治体内に所在する登山道の責任を求められているため。
	⑦官民協働できるか	● できない ○ できる	協働というより、専門性や職員給与の観点から、委託せざるを得ない状況である。
	⑧地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	登山道を知り尽くした自然公園管理人や自然公園指導員が受託しているため、現状が最適と考える。

(CHECK) 自己評価

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
刈り払い作業受託者も高齢化、減少化に歯止めがかかっていない。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

差額関係団体のみならず、市内業者で受託できるものがないか調査を行っている。

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
これまでのように、人夫賃金として個人に作業をお願いする形ではなく、市内に複数存在している山岳関係団体に対する委託という方法も考えていかなければならない。

(ACTION) 改善

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)	
所属長評価	年1回の刈り払いでは少ないとの声もある。現在の対象域が国定公園の内と外の両方であるが、山岳観光の振興のため、県協議などを進める必要がある。	所属長評価	山岳観光者は高齢化・減少化が進んでおり、事業コストに対する費用対効果が年々減少しつつあるが、物価の上昇などによりコストはさらに膨らむ恐れもあるため、県協議などを進める必要がある。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

(PLAN) 計画

1. 基本事項

事務事業名	本合海水辺プラザ管理運営事業			事務事業コード	131-302-42
総合計画	基本目標	1	いきいきと働き、活力とにぎわいのあるまち	担当課	商工観光課
	政策名	3	地域資源を磨き、魅力ある観光産業を確立する	担当者	齋藤一成
	施策名	1	地域資源の磨き出しと活用	内線	252
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等					
予算・事務事業名	一般会計	7款1項3目	観光交流推進事業費	予算コード	01-070103-0103
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input checked="" type="radio"/> 期間限定 始期 年度 ~ 終期 32 年度 (独自事業は基本的に平成32年まで)				
	<input type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 年度~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	平成18年度に整備が完了した国交省・本合海河川整備事業による「本合海水辺プラザ」を活用し、魅力ある観光地としての受入態勢の整備を進める。	事業内容	民間資本による観光やな場の整備等が検討されていることから、当該地の観光化の可能性について地区民・関係団体等と協議する。		
対象	広域ルートの観光客等(八向橋・羽黒山・庄内エリア・肘折温泉・最上川舟下り等)及び本合海所縁の文人の足跡を辿る俳句・短歌・歴史愛好家				
目指す状態	当該地をリバーツーリズムの拠点として位置づけ、地元関係者との協働事業として、より多くの観光客の流入を図る。	実施形態	<input type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input checked="" type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	名勝「おくのほそ道風景地(本合海)周辺観光者数(百人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32見込																																																																	
			実績	107	109	109						120																																																															
達成率																																																																											
活動指標	指標名称	本合海水辺プラザ関係会議開催数(回)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32計画																																																																	
			実績	0	4	3					2																																																																
達成率	0.0% 200.0% 150.0%																																																																										
成果指標	指標名称	名勝「おくのほそ道風景地(本合海)周辺観光者数(百人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32目標																																																																	
			実績	107	109	109					120																																																																
達成率	89.1% 90.8% 90.8%																																																																										
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)																																																																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="11">○名勝「おくのほそ道風景地(本合海)周辺観光者数(百人)</th> </tr> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th></th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>芭蕉乗船の地</td> <td>95</td> <td>95</td> <td>95</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>水辺プラザ</td> <td>10</td> <td>12</td> <td>12</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>トイレ利用者</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>107</td> <td>109</td> <td>109</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>										○名勝「おくのほそ道風景地(本合海)周辺観光者数(百人)												H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32				芭蕉乗船の地	95	95	95								水辺プラザ	10	12	12								トイレ利用者	2	2	2								計	107	109	109	0	0	0	0		
○名勝「おくのほそ道風景地(本合海)周辺観光者数(百人)																																																																											
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32																																																																				
芭蕉乗船の地	95	95	95																																																																								
水辺プラザ	10	12	12																																																																								
トイレ利用者	2	2	2																																																																								
計	107	109	109	0	0	0	0																																																																				
成果(どのような状態になったか)	本合海水辺プラザ管理運営協議会を設立。複数の環境整備作業を行うことができた。																																																																										

(DO) 実行

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	事業費の算出根拠(H28)	
事業費・・・①	106	106	590	590			歳入の積算内訳	
内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	受益者負担							
	その他特財							
一般財源	106	106	590	590	0	0	主な歳出の内訳	
人件費・・・②	1,015	1,015	1,858	1,858	0	0	本合海水辺プラザ管理運営協議会負担金	500
内訳	正規職員(人)	0.13	0.13	0.24	0.24		河川敷レンタルトイレ借上料	69
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,741		河川敷レンタルトイレし尿処理料	21
費用合計(①+②)	1,121	1,121	2,448	2,448	0	0		
臨時嘱託等(人)								
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)	国交省との協定に基づき協議会を設置。環境整備作業を本格化させたための負担金を予算措置したため。							

(CHECK) 自己評価

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	環境整備作業を本格化し、観光地としての受け皿として整備を進める。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	関係者間の連絡・連携が密になり、予定外の活動が展開されつつある。
有効性	③成果の向上余地がない か	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	民間資本を投下できれば、財源がなくても観光地化が可能。
効率性	④成果を下げずに事業費を 削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	人件費を地元住民のボランティアでまかっている以上、環境整備に係る経費として最低限の事業費である。
	⑤人員や実施形態は 適正か	○ 改善の余地がない ● 改善の余地がある	今後は、維持管理・環境整備を行うだけでなく、観光資源として活用していくための実施形態を模索する必要がある。
	⑥他自治体と連携できる か	○ できない ● できる	今後ソフト事業を展開していくためには、他自治体の活動事例などの情報共有が考えられる。
	⑦官民協働できるか	○ できない ● できる	当該協議会は、地元住民と市の協働事業であるため。
	⑨地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	地元からの意見にあわせ、柔軟に実施できる事業である。



6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
H28に協議会を立ち上げ、春・秋の2回、環境整備作業を実施することができた。 しかしながら、設立が6月中旬であったため、雪解け・連休前の環境整備が行えていない。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

来年度の総会を4月に開催することを念頭に、1年かけて準備を進めていく。

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
総会を4月上旬～中旬に開催することで、年間3回の環境整備を行うことが可能である。

(ACTION) 改善

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)	
所属長評価	以前から常設トイレ建設要望があったが、その実現に向けて「本合海水辺プラザ管理運営協議会」の設立は非常に大きい意味がある。維持管理作業を着実なものとしながら、今後の検討が必要である。	所属長評価	協議会としての環境整備作業を経て、地元住民が独自に水辺プラザ周辺の草刈り等を行うようになってきており、協議会設立前に比べ飛躍的な進歩を遂げている。この流れを止めることなく、年間3回の環境整備作業を行っていくべき。
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

(PLAN) 計画

1. 基本事項

事務事業名	観光地おもてなし事業			事務事業コード	131-303-42
総合計画	基本目標	1	いきいきと働き、活力とにぎわいのあるまち	担当課	商工観光課
	政策名	3	地域資源を磨き、魅力ある観光産業を確立する	担当者	渡辺 磨利
	施策名	1	地域資源の磨きだしと活用	内線	252
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等					
予算・事務事業名	一般会計	7款1項3目	観光振興対策事業費	予算コード	01-070103-0101
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input checked="" type="radio"/> 期間限定 始期 28 年度 ~ 終期 32 年度 (独自事業は基本的に平成32年まで)				
	<input type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 28 年度~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	史跡等の観光地やイベント会場の環境美化により利用者の促進を図る。	事業内容	史跡等の観光地や市関連イベントにおいて、環境整備・美化・パトロールを行いつつ、観光客の問いかけに答えるなどの観光案内を行う。			
対象	観光客、市民					
目指す状態	観光地の環境整備により観光客・市民に快適に過ごしていただき、地域の活性化につなげる。	実施形態	<input type="checkbox"/> 市直営 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()			

3. 実施状況

対象指標	指標名称	年間観光客数(千人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32見込
			実績	800.5	741.5	※				
活動指標	指標名称	年間活動延人数(人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32計画
実績						259.0				200
成果指標	指標名称	年間観光客数(千人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32目標
実績						※				1,000
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)									
	※28年度の数値はまだ公表されていない。									
	環境整備箇所(草刈り・除雪) ・本合海水辺プラザ ・芭蕉乗船の地 ・義経上陸の地 ・矢向神社 ・戸沢家墓所 ・鳥越八幡神社 ・一里塚 ・オクチョウジザクラ ・判官神社 ・東山三十三観音 ・柳の清水 ・西山の丘(小磯の墓、堤林の像) 他 イベント(会場環境整備) ・新庄まつり ・カド焼きまつり ・まちなか夜市 ・味覚まつり ・雪国ワンダーランド 他									
成果(どのような状態になったか)	定期的な美化整備により景観の維持と危険箇所の早期発見に寄与し、観光客・市民に快適かつ安全に楽しんでもらうことができた。									

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	事業費の算出根拠(H28)
事業費・・・①			2,624	2,624			歳入の積算内訳
内訳	国庫支出金		2,624				地方創生加速化交付金
	県支出金						
	受益者負担						
	その他特財						
一般財源	0	0	0	2,624	0	0	主な歳出の内訳
人件費・・・②	0	0	387	0	0	0	観光地おもてなし事業業務委託料
内訳	正規職員(人)		0.05				
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,741		
費用合計(①+②)	0	0	3,011	2,624	0	0	
臨時嘱託等(人)							
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)							

(DO) 実行

(CHECK) 自己評価

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	<input checked="" type="radio"/> 結びついている <input type="radio"/> 見直しの余地がある	史跡等への観光客の誘導を促す環境整備は、地域資源の活用そのものである。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	<input checked="" type="radio"/> 適切である <input type="radio"/> 見直しの余地がある	観光地等の環境美化を図ることによって、利用者の満足度が向上する。
有効性	③成果の向上余地がない か	<input type="radio"/> 向上の余地がない <input checked="" type="radio"/> 向上の余地がある	事業費を増額することによって、更なる環境整備が図られる。
効率性	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	<input checked="" type="radio"/> 削減の余地がない <input type="radio"/> 削減の余地がある	以前 国の交付金で行っていた同様の事業と比べると半分以下の事業費であるため。
	⑤人員や実施形態は 適正か	<input type="radio"/> 改善の余地がない <input checked="" type="radio"/> 改善の余地がある	事業費を増額することで人員を増やし、環境整備の強化とイベント会場での更なる活用を図りたい。
	⑥他自治体と連携できる か	<input checked="" type="radio"/> できない <input type="radio"/> できる	新庄市内だけの美化整備に他自治体が費用・人材を提供するとは思えない。
	⑦官民協働できるか	<input checked="" type="radio"/> できない <input type="radio"/> できる	市管轄の史跡も多く、危険を伴う作業もあるため難しい。
	⑧地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	<input type="radio"/> なっていない <input checked="" type="radio"/> なっている	課題・実情に合っている。



6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
平成27年度に国の緊急雇用事業を活用し5,515千円(H27年4月~12月)の予算で3名を雇用し、年間延べ546日の作業(H26年度は12ヶ月で730万、延べ738日)を行ってきたが、国の事業が終了したため、一般財源による従来と同規模の財源措置は厳しく、予算は2,624千円となった。そのため、人員は2名、作業日数は延べ274日と減らすこととなった。その結果、雑草は相当伸びてからの草刈りとなり、ポイ捨てが増え、ひどい所では大きな不法投棄まであった。(草に隠れたゴミにより草刈り機での作業は危険を増すことにもなった。)冬期間の作業も相当の積雪とあってからの除雪や、除雪を行わないこととした場所もあった。全般的に史跡等の観光地を整然とした状態に維持することが非常に困難な状況であった。イベントにおいては、交代要員がいなく支障をきたすこともあり、職員の動員やシルバー人材センターを利用するなど人件費が増えた。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

委託先の作業員とともに、当課または社会教育課職員も合同で作業を行うなど、人員(作業可能日数)不足を補っている。

(ACTION) 改善

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
・事業費増額 ・委託費を新庄観光協会への運営費補助に切り替え、効率的かつ効果的な事業展開を図る。 上記のいずれかの対応が必要と思われる。

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)	
所属長評価		所属長評価	誘客拡大に向け環境整備は重要であるため、更なる強化が必要である。
今後の方向性 <input type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止		今後の方向性 <input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	観光誘客の促進、交流人口の拡大のための情報ツールとして必要である。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	観光客向けにも、市民向けにも観光情報の発信は交流人口の拡大につながる。
有効性	③成果の向上余地がない か	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	観光ガイドブックの配布により、観光地として新庄市の選択してもらう機会を獲得することが必要である。
効率性	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	手に取ってもらう素材として観光ガイドブックの増刷が必要であるため、むしろ事業費は足りていない。
	⑤人員や実施形態は 適正か	○ 改善の余地がない ● 改善の余地がある	観光ガイドブックの情報更新が必要である。
	⑥他自治体と連携できる か	○ できない ● できる	観光情報の収集、発信の面で最上地域の自治体と連携を図っている。
	⑦官民協働できるか	○ できない ● できる	ガイドブックの制作委託で実施。
	⑧地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	交流人口の拡大、観光誘客による地域の活性化という目的に沿った事業である。

(CHECK) 自己評価

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
観光情報の発信について、媒体の精査を行い、効果の高いものを選択して情報発信を行っている。観光ガイドブックは情報の更新を行い増刷しているが、情報が変わるたびに更新していくことは難しい。スピーディーな情報発信にはSNSや情報ポータルサイトを活用するなど、情報媒体のすみ分けを考えて情報発信を行う必要がある。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

観光ガイドブックは市の観光情報だけでなく、広く新庄市をPRするための重要なツールであるため、単価は抑えつつも、必要な数を維持できるように内容の精査を行っている。
--

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
「山・鉾・屋台行事」のユネスコ無形文化遺産登録を契機として、観光地として新庄市を選択してもらうには、多方面への観光ガイドブック配布やPRが不可欠である。情報発信が滞らないようにガイドブックの増刷を維持し、インターネット、SNSを活用した情報発信を積極的に行っていく。

(ACTION) 改善

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)	
所属長評価	交流人口拡大のため、観光資源の掘り起こし、磨き上げに力を入れ、多様な手段を使った情報発信が求められてきている。それぞれ手段の特性を踏まえた上でより有効な情報発信へ取り組む必要がある。	所属長評価	「山・鉾・屋台行事」のユネスコ無形文化遺産登録を受けて、ガイドブックの送付依頼が増加し、各種イベントへの配布も求められている。ガイドブックの精査として、外国語への一部翻訳、新たな観光素材の取り込み(漫画ミュージアム等)を行い、有効な情報発信に取り組んでいく必要がある。
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

(PLAN) 計画

1. 基本事項

事務事業名	新庄藩江戸家老事業			事務事業コード	132-102-42
総合計画	基本目標	1	いきいきと働き、活力とにぎわいのあるまち	担当課	商工観光課
	政策名	3	地域資源を磨き、魅力ある観光産業を確立する	担当者	加藤拓朗
	施策名	2	交流の促進	内線	253
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等					
予算・事務事業名	一般会計	7款1項3目	観光交流推進事業費	予算コード	01-070103-0103
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input checked="" type="radio"/> 期間限定 始期 年度 ~ 終期 28 年度 (独自事業は基本的に平成32年まで)				
	<input type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 年度~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	新庄市を全国に周知する地域情報発信手段として、新庄市出身者等による「新庄藩江戸家老」制度を創設し、新庄市を全国に発信する。	事業内容	毎月の新庄広報誌等を提供し、情報を共有。戸澤家家紋入りの特製名刺を年間各100枚、計2,100枚支給し、新庄市のPRを担っていた。その他、各方面で新庄まつりや物産等を自主的にPRいただく。		
対象	新庄藩江戸家老を通じての首都圏・仙台圏の企業や住民				
目指す状態	首都圏・仙台圏等に広い人脈をもつ新庄出身者および所縁の方々22名に山形・新庄をPRしていただき自らが観光客誘致を図ることにより、交流人口の増大・観光物産面での経済効果を期待する。	実施形態	<input type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	説明(算式等)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32見込																																																																																																														
				実績	達成率																																																																																																																			
活動指標	江戸家老への名刺作成枚数(枚)		年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32計画																																																																																																														
			実績		1,500	0					-																																																																																																													
成果指標	江戸家老からの情報発信・提言件数(回)		年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32目標																																																																																																														
			実績	15	14	13					20																																																																																																													
補足説明	江戸家老からの情報発信・提言件数(回)		達成率	75.0%	70.0%	65.0%																																																																																																																		
			年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32目標																																																																																																														
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)		実績	7	11	3					10																																																																																																													
			達成率	70.0%	110.0%	30.0%																																																																																																																		
補足説明	<table border="1" style="width:100%; height:100px;"> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> </table>																																																																																																																							
成果(どのような状態になったか)	市の観光・物産等をPRしていただき、誘客や交流促進が図られた。																																																																																																																							

(DO) 実行

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	事業費の算出根拠(H28)		
事業費・・・①	130	120	120				歳入の積算内訳		
内訳	国庫支出金								
	県支出金								
	受益者負担								
	その他特財								
一般財源	130	120	120	0	0	0	主な歳出の内訳		
人件費・・・②	1,640	2,186	1,780	0	0	0	交流費	30	
内訳	正規職員(人)	0.21	0.28	0.23				通信運搬費	15
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741				消耗品費	75
費用合計(①+②)	1,770	2,306	1,900	0	0	0			
臨時嘱託等(人)									
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)									

(CHECK) 自己評価

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	<input checked="" type="radio"/> 結びついている <input type="radio"/> 見直しの余地がある	各種イベント等でのPRや、市に対しての提案あったため。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	<input checked="" type="radio"/> 適切である <input type="radio"/> 見直しの余地がある	江戸家老個々の専門性を活かして活躍していただいている。
有効性	③成果の向上余地がない か	<input checked="" type="radio"/> 向上の余地がない <input type="radio"/> 向上の余地がある	平成28年度限りで江戸家老事業を廃止するため。
効率性	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	<input checked="" type="radio"/> 削減の余地がない <input type="radio"/> 削減の余地がある	交流会の在り方等を検討する必要がある。
	⑤人員や実施形態は 適正か	<input type="radio"/> 改善の余地がない <input checked="" type="radio"/> 改善の余地がある	人数は適正だが、全体の高齢化が進んでいるため。
	⑥他自治体と連携できる か	<input checked="" type="radio"/> できない <input type="radio"/> できる	新庄出身者に限定しているため。
	⑦官民協働できるか	<input checked="" type="radio"/> できない <input type="radio"/> できる	個々の専門性を活かした事業であるため。
	⑧地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	<input type="radio"/> なっていない <input checked="" type="radio"/> なっている	幅広く活動して頂いているので、広いつながりを持つことができている。



6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
それぞれの分野で新庄市をPRしていただいているものの、「新庄ふるさと応援隊」事業との差別化は図れず、また、高齢化のため、活動が低迷してきて当初よりも期待した効果が得られなかった。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

仙台、江戸家老共に、事業を廃止し、ふるさと応援隊事業へと統合していく旨の説明をしており、了解を得ている。
--

(ACTION) 改善

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
「新庄ふるさと応援隊」事業との差別化を図ることができず、また、筆頭家老の逝去や全体の高齢化もあり、平成28年度いっぱい江戸家老事業を廃止する。

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)			
所属長評価	首都圏との関わりにおいて、江戸家老の貢献度は非常に大きい。なお、江戸家老が高齢化しており、その後同様の趣旨で発足した「ふるさと応援隊」との一体的な活動展開など、改善の余地がある。	所属長評価	江戸家老全体が高齢化により、ほぼ活動がないため、次年度からふるさと応援隊へと統合する。		
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止		

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

(PLAN) 計画

1. 基本事項

事務事業名	ふるさと応援隊事業			事務事業コード	132-103-42
総合計画	基本目標	1	いきいきと働き、活力とにぎわいのあるまち	担当課	商工観光課
	政策名	3	地域資源を磨き、魅力ある観光産業を確立する	担当者	柏倉敏彦
	施策名	2	交流の促進	内線	249
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等					
予算・事務事業名	一般会計	7款1項3目	物産振興対策事業費	予算コード	01-070103-0300
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input type="radio"/> 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 (独自事業は基本的に平成32年まで)				
	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 24 年度 ~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	豊かな自然とそこに根付く産業や文化など、豊富な資源を広く紹介するため、地域外に居住する本市出身者をはじめ、本市を応援したいという方を広く募り、交流を促進するとともに、観光資源の磨き上げや農産物及び加工品などの物産を広く知っていただく。	事業内容	・特典の付いた会員証の発行 ・会員情報誌「しんじょう時間(たいむ)」の発行 ・交流会の開催		
対象	最上地域外居住で18歳以上の方		実施形態	<input type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()	
目指す状態	交流人口の拡大				

3. 実施状況

対象指標	指標名称	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32見込	
			実績							-
	説明(算式等)	達成率								
活動指標	指標名称	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32計画	
	説明(算式等)	実績							-	
		達成率								
成果指標	指標名称	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32目標	
	ふるさと応援隊入会者数(百人)	実績		21	43				20	
	説明(算式等)	達成率		105.0%	215.0%					
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)									
成果(どのような状態になったか)										

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	事業費の算出根拠(H28)	
事業費・・・①			3,000	3,000			歳入の積算内訳	
内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	受益者負担							
	その他特財							
一般財源	0	0	3,000	3,000	0	0	主な歳出の内訳	
人件費・・・②	0	0	1,626	2,322	0	0	新庄市物産振興会議負担金	3,000
内訳	正規職員(人)		0.21	0.30				
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,741			
費用合計(①+②)	0	0	4,626	5,322	0	0		
臨時嘱託等(人)								
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)								

(DO) 実行

(CHECK) 自己評価

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	<input checked="" type="radio"/> 結びついている <input type="radio"/> 見直しの余地がある	直接的ではないが、応援隊員数の増加に伴い、ふるさと納税返礼品による物産の交流につながっている。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	<input checked="" type="radio"/> 適切である <input type="radio"/> 見直しの余地がある	
有効性	③成果の向上余地がない か	<input type="radio"/> 向上の余地がない <input checked="" type="radio"/> 向上の余地がある	応援隊へ加入される方は年々増加してきている。
効率性	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	<input checked="" type="radio"/> 削減の余地がない <input type="radio"/> 削減の余地がある	隊員数の増加に伴い、会員情報誌の郵送料も増大してきており、限られた予算の中で回数を減らし対応している。
	⑤人員や実施形態は 適正か	<input type="radio"/> 改善の余地がない <input type="radio"/> 改善の余地がある	
	⑥他自治体と連携できる か	<input checked="" type="radio"/> できない <input type="radio"/> できる	現在、市単独の組織として運営しているが、連携すればより煩雑になることが予想され、自治体連携には馴染まない。
	⑦官民協働できるか	<input type="radio"/> できない <input checked="" type="radio"/> できる	会員証の特典について、民間事業者と連携を図っている。
	⑧地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	<input type="radio"/> なっていない <input checked="" type="radio"/> なっている	ふるさと納税にも大いに寄与している。



6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
隊員数も年々増加し、会員情報管理、情報誌の発送に苦慮している。市単独予算のため財源充当に苦慮している。応援隊からふるさと納税への流れもあることから、事業として正当な評価実施を望む。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

<ul style="list-style-type: none"> ・課員情報誌の発行回数の減(季刊⇒3) ・会報誌のメールによる受信の希望調査 ・ふるさと納税からの財源充当検討

(ACTION) 改善

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
単独財源で予算に限界があり、運営に苦慮していることから、ふるさと納税からの財源充当により健全な運営を図っていく。

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)			
所属長評価		所属長評価	ふるさと応援隊については、本市出身者や縁のある方が、本市を応援したいという意思のもと納税のみならず、出張物産展での購入や、帰省した際の商品の購入は勿論のこと、入隊した後も、ふるさと納税を行いたいという方からの問い合わせも多く、今後とも拡大し本市の魅力を発信していく必要がある。		
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止		

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

(PLAN) 計画

1. 基本事項

事務事業名	新庄観光協会連携事業			事務事業コード	132-104-42
総合計画	基本目標	1	いきいきと働き、活力とにぎわいのあるまち	担当課	商工観光課
	政策名	3	地域資源を磨き、魅力ある観光産業を確立する	担当者	渡辺磨利
	施策名	2	交流の促進	内線	252
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等					
予算・事務事業名	一般会計	7款1項3目	職員給与費	予算コード	01-070103-0101
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input checked="" type="radio"/> 期間限定 始期 年度 ~ 終期 32 年度 (独自事業は基本的に平成32年まで)				
	<input type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 年度 ~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	新庄市の観光PR	事業内容	新庄観光協会の事業につき人的協力をを行い、春まつり(カド焼きまつり)、市民号、新庄まつりかわら版の配布及び各種イベント運営や新庄まつりカレンダーの販売等の活動を支援する。		
対象	観光客・市民				
目指す状態	観光事業の展開及び、情報の提供を通して誘客を図り、地域の活性化につなげる。	実施形態	<input type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input checked="" type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	説明(算式等)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32見込
			実績	506	480	490	500			
			達成率							
活動指標	指標名称	説明(算式等)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32計画
			実績	26	25	25				
			達成率	86.7%	83.3%	83.3%				
成果指標	指標名称	説明(算式等)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32目標
			実績	5	4.7	4.8	4.9			
			達成率	50.0%	47.0%	48.0%	49.0%			
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)									
	<input checked="" type="checkbox"/> カド焼きまつりでのカド販売数									
	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
販売数	4500尾	4300尾	4370尾	4400尾						
成果(どのような状態になったか)	主要団体と連携し、誘客PRを行うことにより、地域経済の活性化が図られた。									

(DO) 実行

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	事業費の算出根拠(H28)
事業費 … ①	0	0	0	0			歳入の積算内訳
内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	受益者負担						
	その他特財						
一般財源	0	0	0	0	0	0	主な歳出の内訳
人件費 … ②	2,186	2,420	2,013	2,013	0	0	新庄市観光協会への支出無し
内訳	正規職員(人)	0.28	0.31	0.26	0.26		
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,741		
費用合計(①+②)	2,186	2,420	2,013	2,013	0	0	
臨時嘱託等(人)							
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)							

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	観光案内や誘客性のあるイベントで交流が促進されている。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	イベントの開催・観光情報の提供など観光事業を積極的に行うことで、観光客の増加と経済効果をもたらしている。
有効性	③成果の向上余地がない か	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	カード焼きまつり等は、開催方法や周知方法を検討し、更なる誘客を図る。
効率性	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	補助金等も支出しておらず、市側の事業費は0円である。
	⑤人員や実施形態は 適正か	○ 改善の余地がない ● 改善の余地がある	職員の出向または運営補助金の支出など大きな改善の必要がある。
	⑥他自治体と連携できる か	● できない ○ できる	観光協会は各自治体に存在しているため、本市のための協力は難しい。ただし、最上地域の観光協会間で観光PR等の連携は行っている。
	⑦官民協働できるか	○ できない ● できる	既にその形態で行っている。
	⑧地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	なっているのだが、現在の状況では大した支援ができていない。

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
新庄カード焼きまつりは、開催時期と桜の開花時期のズレや若い世代に向かない内容のためか、来客数が減ってきている。 観光案内においては、観光客ニーズの多様化や外国人観光客の増加等の対応に限界がきている。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

新庄カード焼きまつり等のイベントへの人的支援とPR協力を行いつつ、連絡を密に行い情報共有に努めている。

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
今後も観光振興に向け連携して行っていく必要があるが、観光案内面での支援やイベント内容について踏み込むためには運営補助等の予算確保に努めなければならない。

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)	
所属長評価	観光客増加のためには観光協会は重要であり、人的支援や事業費の予算要求など、更なる連携強化に努めなければならない。	所属長評価	誘客拡大のための実務的な連携であり、人的支援や事業費の支援など、更に強化すべきである。
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

事務事業名	新庄フィルムコミッション事業			事務事業コード	132-105-42
総合計画	基本目標	1	いきいきと働き、活力とにぎわいのあるまち	担当課	商工観光課
	政策名	3	地域資源を磨き、魅力ある観光産業を確立する	担当者	加藤拓朗
	施策名	2	交流の促進	内線	253
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等					
予算・事務事業名	一般会計	7款1項3目	観光交流推進事業費	予算コード	
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input checked="" type="radio"/> 期間限定 始期 28 年度 ~ 終期 32 年度 (独自事業は基本的に平成32年まで)				
	<input type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 年度~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	新庄・最上地域の自然、景観、施設、人材をはじめとする資源を活用し、映画・テレビ番組・CM・写真等のロケーション撮影に対する協力及び誘致活動を行なうことにより、まちの魅力の向上及び認知度、イメージの向上を図り、観光の振興と地域の活性化を目的とする。	事業内容	ロケーション撮影の誘致(ロケ候補地に関する情報提供や問い合わせ対応、情報発信) ロケーション撮影への支援(各種許可に対する情報提供、同行案内や現場立会、宿泊施設、駐車場などの支援情報の提供、エキストラの手配協力) 地域への啓発・広報(イベント開催や広報誌を活用してのPR活動、エキストラ、撮影協力団体、ロケ候補地の募集)		
対象	撮影隊、地域住民				
目指す状態	新庄・最上地域の知名度、イメージの向上及び撮影隊による直接的な経済効果が生まれる状態	実施形態	<input type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	説明(算式等)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32見込
				実績	達成率	実績	達成率	実績	達成率	実績
活動指標	指標名称	撮影隊誘致実績回数(回)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32計画
	説明(算式等)	撮影が行われた回数	実績		18	19				25
成果指標	指標名称	撮影・情報提供回数	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32計画
	説明(算式等)	映像制作やロケハン等の回数	実績		24	28				33
補足説明	指標名称	撮影隊誘致実績回数(回)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32目標
	説明(算式等)	達成率	実績		18	19				25
(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明) 【主な誘致実績】 ・SBSテレビ 朝倉さやのひとり観光協会！In静岡 ・内閣府CM国際広報 ・NHK BS1 新日本風土記 ・映画「赤い雪 RED SNOW」(2か月以上の長期滞在。作品の大部分が市内で撮影された。来年度国際映画展に応募予定で、試写会を今年度新庄市で行いたいとのオファーあり。) ・フルタチさん ・映画「追補MANHANT」 ・映画「笛吹き馬のフェイブル」										
成果(どのような状態になったか)		長期滞在の映画ロケ誘致など大きな成果があった。また昨年度より継続して撮影されている「朝倉さやのひとり観光協会！」を見て、実際に新庄まで足を運んでくれた県外ファンの方もいた。間接的にも確実に経済効果が生まれている。								

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	事業費の算出根拠(H28)	
事業費・・・①			3,300	3,070			歳入の積算内訳	
内訳	国庫支出金			1,535				
	県支出金							
	受益者負担							
	その他特財							
一般財源	0	0	3,300	1,535	0	0	主な歳出の内訳	
人件費・・・②	0	0	2,245	2,245	0	0	負担金	3,300
内訳	正規職員(人)		0.29	0.29				
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,741			
費用合計(①+②)	0	0	5,545	5,315	0	0		
臨時嘱託等(人)								
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)								

(CHECK) 自己評価

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	<input checked="" type="radio"/> 結びついている <input type="radio"/> 見直しの余地がある	地域資源を生かし、観光の振興と地域の活性化に大きく貢献している。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	<input checked="" type="radio"/> 適切である <input type="radio"/> 見直しの余地がある	撮影隊の誘致に成功し、経済効果が生まれている。
有効性	③成果の向上余地がない か	<input type="radio"/> 向上の余地がない <input checked="" type="radio"/> 向上の余地がある	今後も映画やドラマの誘致拡大を目指していく。
効率性	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	<input checked="" type="radio"/> 削減の余地がない <input type="radio"/> 削減の余地がある	事業費と業務量が見合っていない状況であり、削減の余地はない。
	⑤人員や実施形態は 適正か	<input checked="" type="radio"/> 改善の余地がない <input type="radio"/> 改善の余地がある	撮影隊とのつながりや関係によって現在の実績が成り立っている現状であるため、改善の余地はない。
	⑥他自治体と連携できる か	<input type="radio"/> できない <input checked="" type="radio"/> できる	最上地域全体でロケ候補地の情報提供を行っており、今後も連携していく必要がある。
	⑦官民協働できるか	<input type="radio"/> できない <input checked="" type="radio"/> できる	エキストラや食事、宿泊など市民協働の体制ができています。
	⑧地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	<input type="radio"/> なっていない <input checked="" type="radio"/> なっている	地域振興、観光振興に大きく貢献している。



6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
ロケハン・撮影の依頼は不定期であるため、安定的に撮影隊を誘致するにはさらなるPRを行っていく必要がある。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

ネット上でのPRにとどまっている状況であるため、今後は関係各所でもPRしていく予定。
--

(ACTION) 改善

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
フィルムコミッション活動を地域に周知させ、撮影関係者にもPRを行っていき、撮影隊の誘致を図っていく。

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)			
所属長評価		所属長評価	静岡での特集番組や内閣府CM、映画撮影など規模の大きなものが多く、地域経済の活性化に大きく貢献している。また、番組などは広告換算すると数千円にも上るほどの効果を生んでいるため、今後も継続・拡大して事業を行っていく必要がある。		
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止		

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

(PLAN) 計画

1. 基本事項

事務事業名	最上地域観光協議会関連事業			事務事業コード	132-201-42
総合計画	基本目標	1	いきいきと働き、活力とにぎわいのあるまち	担当課	商工観光課
	政策名	3	地域資源を磨き、魅力ある観光産業を確立する	担当者	小関紀夫
	施策名	2	交流の促進	内線	251
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等					
予算・事務事業名	一般会計	7款1項3目	観光振興対策事業費	予算コード	01-070103-0101
事業期間	○ 単年度		事業年度 平成 年度	(1年限りの事業)	
	● 期間限定		始期 17 年度 ~ 終期 32 年度	(独自事業は基本的に平成32年まで)	
	○ 単年度繰り返し(継続)		開始年度 平成 年度 ~	(期限の定めのない事業)	

2. 事務事業の概要

目的	最上地域に関する情報を発信し、地域の観光振興を図る。	事業内容	行政・関連事業者等が連携し、観光ニーズに対応した体験型観光メニュー等を積極的に企画提案し、当地域への誘客を促進する。		
対象	市民・最上地域住民及び観光客				
目指す状態	広域的な観光情報の発信による誘客の促進と最上地域全体の観光の振興	実施形態	<input type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	最上地域観光者数(千人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32見込
			実績	2,759.2	2,693.9	※				
説明(算式等)	山形県観光者数調査		達成率							
活動指標	指標名称	旅行会社訪問提案延べ数(社部署)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32計画
			実績	73	105	138				
説明(算式等)	協議会観光誘客プロデューサー訪問件数		達成率	48.7%	70.0%	92.0%				
成果指標	指標名称	最上地域観光者数(千人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32目標
			実績	2,759.2	2,693.9	※				
説明(算式等)	山形県観光者数調査		達成率	92.0%	89.8%	#VALUE!				
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)									
	※H28調査結果は未公表(5/20現在)									
	指標変更の理由									
	○これまでの活動指標、小さな旅等誘客事業はH28から旅行会社に移行(旅行商品化)									
	○これまでの成果指標、「もがみ観光博」はH24のみの開催(H25~H27:DC観光客数)									
成果(どのような状態になったか)	県、最上8市町村が連携し取り組むことができた。また、自然・文化資源等をネットワーク化した広域観光の振興を図られたことで、誘客につなげることができた。									

(DO) 実行

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	事業費の算出根拠(H28)	
事業費・・・①	2,430	2,331	2,314	2,310			歳入の積算内訳	
内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	受益者負担							
	その他特財							
一般財源	2,430	2,331	2,314	2,310	0	0	主な歳出の内訳	
人件費・・・②	2,655	3,592	3,561	3,561	0	0	最上地域観光協議会負担金	2,314
内訳	正規職員(人)	0.34	0.46	0.46	0.46			
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,741			
費用合計(①+②)	5,085	5,923	5,875	5,871	0	0		
臨時嘱託等(人)								
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)								

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	地域全体の情報を得ることができ、また他地域からの誘客につながっている。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	にぎわいと交流のまちづくりを創出するための広域的観光の推進に寄与している。
有効性	③成果の向上余地がないか	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	有効な地域・観光資源の発掘及び最上地域が連携したPR範囲の拡大によって誘客数の増加が見込まれる。
効率性	④成果を下げずに事業費を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	最上8市町村内で分担して請け負っている費用である。
	⑤人員や実施形態は適正か	● 改善の余地がない ○ 改善の余地がある	行政を中心に民間と連携・協働して実施している事業である。
	⑥他自治体と連携できるか	○ できない ● できる	県及び最上8市町村、民間団体が連携して事業実施している。
	⑦官民協働できるか	○ できない ● できる	県及び最上8市町村、民間団体が協働して事業実施している。
	⑧地域の課題や実情に合わせた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	最上圏域全体の人口が減少している中で交流人口の拡大は共通する大きな課題であり、地域資源を活用した事業を実施している。

(CHECK) 自己評価

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
最上地域8市町村が一体となった取り組みができ誘客につながった。一過性のものとしなないためには、最上地域の観光資源を活かした新たな取り組み、他地域との差別化が必要である。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

観光素材の発掘・磨き上げ・売込みの強化、四季を通じた「ブナと巨木のがみ回廊」キャンペーンの実施、受入態勢の整備などを行う。また、ユネスコ無形文化遺産登録となった新庄まつり山車行列を核として、最上地域全域での観光客受入体制整備を図る。
--

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
最上地域の特徴、強みである「ブナと巨木」のブランド化を推進するとともに、地域の観光資源の磨き上げと活用による通過型から滞在型観光への転換と持続可能な観光誘客の基盤づくりを図る。

(ACTION) 改善

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)	
所属長評価	山形DCは最上地域の魅力をアピールする絶好の機会となり、各市町村イベントへの更なる誘客を図ることができた。山形DCを一過性のものとしなないためにも、最上地域の特徴を活かした旅行商品の開発、情報発信に努め、交流人口の拡大につなげていく必要がある。	所属長評価	「ブナと巨木」による最上地域のブランド化を継続しつつも、経済効果の高い滞在型観光商品の開発し、誘客を図ることができた。今後は、新庄まつりのユネスコ登録によるインバウンドの強化など、最上地域の特徴を活かした旅行商品の開発、情報発信に努め、交流人口の拡大につなげていく必要がある。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

事務事業名	陸羽東西線利用推進協議会関連事業			事務事業コード	132-202-42
総合計画	基本目標	1	いきいきと働き、活力とにぎわいのあるまち	担当課	商工観光課
	政策名	3	地域資源を磨き、魅力ある観光産業を確立する	担当者	渡辺磨利
	施策名	2	交流の促進	内線	252
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等					
予算・事務事業名	一般会計	7款1項3目	観光交流推進事業費	予算コード	01-070103-0103
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input checked="" type="radio"/> 期間限定 始期 8 年度 ~ 終期 32 年度 (独自事業は基本的に平成32年まで)				
	<input type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 年度 ~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	陸羽東西線の利用促進を図る。	事業内容	陸羽東西線利用推進協議会に負担金を支出し、利用拡大のためのPRパンフレット作成やイベントを沿線自治体とともに実施する。また、ダイヤ改正の要望活動を行う。		
対象	観光客・市民				
目指す状態	観光振興による利用者の拡大を通して路線を確保する。				
実施形態	<input type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()				

3. 実施状況

対象指標	指標名称	説明(算式等)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32見込																																		
				実績	1,389	1,360	※				1,400																																	
	JR発表の陸羽東西線の平均通過人員(人/日)[小牛田~新庄、新庄~余目]	利用客1日1kmあたり的人数(算出式補足説明欄へ)	達成率																																									
活動指標	指標名称	観光パンフレット作成部数(千枚)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32計画																																		
	説明(算式等)		実績	5	5	6				5																																		
			達成率	100.0%	100.0%	120.0%																																						
成果指標	指標名称	陸羽東西線運行列車本数(本)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32目標																																		
	説明(算式等)		実績	42	40	40	40			42																																		
			達成率	97.7%	95.2%	95.2%	95.2%																																					
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)																																											
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="11">○利用促進イベント参加者数</td> </tr> <tr> <td></td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>H30</td> <td>H31</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td>146人</td> <td>62人</td> <td>66人</td> <td>107人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td colspan="3"></td> </tr> </table>											○利用促進イベント参加者数												H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31				参加者	146人	62人	66人	107人						
	○利用促進イベント参加者数																																											
	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31																																					
参加者	146人	62人	66人	107人																																								
○「平均通過人員」=「各路線の年度内の旅客輸送人キロ」÷「当該路線の年度内営業キロ」÷「年度内営業日数」 ※5/19現在 H28の数字は未発表																																												
成果(どのような状態になったか)	沿線の観光情報発信や利用促進イベント企画により、観光分野での路線利用の拡大に寄与した。																																											

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	事業費の算出根拠(H28)	
事業費・・・①	38	28	28	38			歳入の積算内訳	
内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	受益者負担							
	その他特財							
一般財源	38	28	28	38	0	0	主な歳出の内訳	
人件費・・・②	2,342	1,952	1,935	1,935	0	0	陸羽東西線利用推進協議会負担金	28
内訳	正規職員(人)	0.30	0.25	0.25	0.25			
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,741			
費用合計(①+②)	2,380	1,980	1,963	1,973	0	0		
臨時嘱託等(人)								
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)								

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	陸羽東西線の存在により、沿線地域と連携した広域観光につながっている。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	利用促進イベントの実施などにより、交流人口が増えている。
有効性	③成果の向上余地がない か	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	利用促進イベントの実施などにより、観光分野での路線利用数が増えている。
効率性	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	必要最小限の負担金である。
	⑤人員や実施形態は 適正か	● 改善の余地がない ○ 改善の余地がある	協議会事務局であり、人件費に削減の余地はない。 実施形態は、協議会としての事業推進が適正である。
	⑥他自治体と連携できる か	○ できない ● できる	多くの自治体と連携した協議会である。
	⑦官民協働できるか	○ できない ● できる	協議会会員には既に各地域の観光協会・商会議所・商工会・農協などが加入し負担金をいただいている。
	⑨地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	廃線を避けるためにも、重要な事業である。

(CHECK) 自己評価

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
山形新幹線との接続が不便であることや、登校時間に間に合わないダイヤ、通学手段の多様化などにより日常生活利用の乗車客数が減少している。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

JRや関係団体と連携し、沿線地域のPRを行ったり、効果的な利用促進イベントを検討している。

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
観光分野での乗客数の増加を目指し、沿線地域のPRリーフレットの作成や利用促進イベント等により魅力を発信する。また、通勤・通学手段としての重要性や列車間のスムーズな接続の必要性を訴え、ダイヤ改正を要望していく。

(ACTION) 改善

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)	
所属長評価	陸羽東西線を活用した観光事業は今後の可能性が大きい、運行本数も減っているため、積極的な事業展開を図り、利用拡大に努めなければならない。	所属長評価	平成29年度は陸羽東線開通100周年であるため、記念事業を始め更なるPR活動を進めるべきである。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

(PLAN) 計画

1. 基本事項

事務事業名		友好自治体交流推進事業				事務事業コード	132-203-42
総合計画	基本目標	1	いきいきと働き、活力とにぎわいのあるまち			担当課	商工観光課
	政策名	3	地域資源を磨き、魅力ある観光産業を確立する			担当者	加藤拓朗
	施策名	2	交流の促進			内線	253
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業		評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業			
法令根拠							
条例・要綱等							
予算・事務事業名	一般会計	7款1項3目	観光交流推進事業費			予算コード	01-070103-0103
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)						
	<input checked="" type="radio"/> 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 (独自事業は基本的に平成32年まで)						
	<input type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 年度 ~ (期限の定めのない事業)						

2. 事務事業の概要

目的	友好自治体との交流を推進する。		事業内容	市友好自治体交流推進協議会に委託し、友好自治体との交流への人的支援を行う。		
対象	ア) 市民 イ) 友好自治体盟約: 奈良県葛城市(旧新庄町)、岡山県新庄村 ウ) 友好都市盟約: 茨城県高萩市 エ) 友好市町村共同宣言: 東京都三鷹市、福島県矢吹町、兵庫県たつの市、岩手県遠野市、長野県小谷村、川上村、山形県戸沢村 オ) 戸沢家縁: 岩手県雫石町、秋田県仙北市(旧角館町)、茨城県小美玉市(旧小川町) カ) 他: 東京都北区					
目指す状態	友好関係を一層深めると共に、物産交流による地域経済活性化を図る。		実施形態	<input type="checkbox"/> 市直営 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	友好自治体数	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32見込
			実績	4	4	4				
説明(算式等)	達成率									
活動指標	指標名称	市友好自治体交流推進協議会交流イベント回数	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32計画
			実績	5	4	5				5
説明(算式等)	達成率		100.0%	80.0%	100.0%					
成果指標	指標名称	市友好自治体交流推進協議イベント等参加者数	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32目標
			実績	275	211	296				280
説明(算式等)	達成率		70.3%	75.3%	105.7%					
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)									
	味覚まつり 9名									
	戸沢サミット 107名									
	ふるさと応援隊交流会 175名									
	ふるさと北区区民まつり 5名									
成果(どのような状態になったか)	イベントを通して、交流を促進することができた。									

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	事業費の算出根拠(H28)	
事業費・・・①	30	83	84	84			歳入の積算内訳	
内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	受益者負担							
	その他特財							
一般財源	30	83	84	84	0	0	主な歳出の内訳	
人件費・・・②	1,405	2,108	2,013	2,013	0	0	友好自治体交流推進事業業務委託料	84
内訳	正規職員(人)	0.18	0.27	0.26	0.26			
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,741			
費用合計(①+②)	1,435	2,191	2,097	2,097	0	0		
臨時嘱託等(人)								
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)								

(DO) 実行

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	友好自治体との交流促進に寄与している。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	物的交流から人的交流に拡大していく必要がある。
有効性	③成果の向上余地がない か	● 向上の余地がない ○ 向上の余地がある	現状の予算では、事業内容に限界がある。
効率性	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	現状の予算では、事業内容に限界がある。
	⑤人員や実施形態は 適正か	● 改善の余地がない ○ 改善の余地がある	事務局として最低限の人件費である。
	⑥他自治体と連携できる か	○ できない ● できる	今後も連携できる自治体を模索していく。
	⑦官民協働できるか	● できない ○ できる	利益が生まれるような事業ではないため。
	⑧地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	交流人口の拡大を目指している事業である。

(CHECK) 自己評価

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)

栗石町で戸沢氏まつりが開催され、参加をした。人と文化の交流はあったが、物産などの交流が少なかった。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

次の第5回戸沢サミットin小美玉へ向けて準備に取り掛かっている状況である。

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)

友好自治体交流をきっかけに、その他のイベントでも出店して頂いたことがあった。今後も交流を継続していく必要がある。

(ACTION) 改善

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)	
所属長評価	友好自治体との交流は、ヒト、モノ、文化の交流としてその継続の意義は大きい。	所属長評価	友好自治体と、ヒト、モノ、文化を通じて交流する意義は大きい。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

事務事業名	エコロジーガーデン利活用推進事業			事務事業コード	131-204-42
総合計画	基本目標	1	いきいきと働き、活力とにぎわいのあるまち	担当課	商工観光課
	政策名	3	地域資源を磨き、魅力ある観光産業を確立する	担当者	加藤 明
	施策名	2	交流の促進	内線	249
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等					
予算・事務事業名	一般会計	7款1項3目	エコロジーガーデン推進事業費	予算コード	01-060103-1200
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input checked="" type="radio"/> 期間限定 始期 14 年度 ~ 終期 32 年度 (独自事業は基本的に平成32年まで)				
	<input type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 年度~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	新庄市エコロジーガーデンの維持管理及び利活用の推進を図る。	事業内容	地域農業振興の拠点づくり(農業後継者育成の拠点づくり、有機の里最上の拠点づくり、安全安心な食の発信)
対象	市民及びその他の来園者等		歴史文化資源と景観の保全(歴史文化伝承機能の充実、建物や樹木等の適正管理)
目指す状態	平成25年3月に策定した新庄市エコロジーガーデン利用計画に基づき、自然や人とのふれあいの中で住みやすさが実感できる空間の創造を目指す。		市民が憩い学べる農業公園づくり(公園機能の整備、施設概要やイベント等の情報発信) 多面的な利用展開(市民活力の導入、多様な実施主体との連携、市民活動の支援)
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input checked="" type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	市民	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32見込
			実績	37,790	37,407	36,152				
	説明(算式等)	住民基本台帳人口	達成率							
活動指標	指標名称	イベント開催回数(回)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32計画
			実績	26	18	18				
	説明(算式等)		達成率	108.3%	66.6%	66.6%				24
成果指標	指標名称	エコロジーガーデン来園者数(人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32目標
			実績	15,164	14,888	17,100				
	説明(算式等)		達成率	75.8%	74.4%	85.5%				20,000
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明) ○利用団体等 しんじょう産地直売所運営協議会、新庄亀綾織伝承協会、特定非営利活動法人NPOもがみ、新庄ひつじネットワーク 最上地域有機農業推進協議会、新庄市パークゴルフ協会、新庄ターゲットバードゴルフ協会、新庄市若者園芸実践塾運営協議会 ○その他の活動団体等 交流拡大プロジェクト実行委員会、PLPプロジェクト 青山学院大学文化政策学部黒石ゼミ ○主なイベント等 キトキトマルシェ(5月から11月まで毎月1回)、キトキト環境芸術祭(9/5-9/18) グラウンドワークセミナー(7/23) ○その他 「輝けやまがた若者大賞」受賞(10/18) 「やまがた公益大賞」受賞(11/11) 「手づくり郷土賞」国土交通大臣表彰受賞(3/22)									
成果(どのような状態になったか)	利用計画に基づき、市民団体・グループ等との連携や民間活力を積極的に取り入れ各種の事業・活動等を実施した結果、施設の安定的な利活用に結びついた。									

4. 投入資源

(単位:千円)

年 度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	事業費の算出根拠(H28)	
事業費 … ①	25,107	14,571	14,890	11,210			歳入の積算内訳	
内 訳	国庫支出金	1,787		7,458			エコロジーガーデン利用料	434
	県支出金	1,155					地方創生加速化交付金	7,458
	受益者負担	449	498	498	390			
	その他特財				6,782			
	一般財源	21,716	14,073	6,934	4,038	0	0	主な歳出の内訳
人件費 … ②	7,027	7,808	5,651	5,651	0	0	光熱水費	2,271
内 訳	正規職員(人)	0.90	1.00	0.73	0.73		修繕料(トラクター修繕、建物修繕等)	1,675
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,741		施設管理業務委託料	2,347
費用合計(①+②)	32,134	22,379	20,541	16,861	0	0	交流拡大プロジェクト負担金	1,500
臨時嘱託等(人)	1.60						青山学院大学研究・交流事業負担金	500
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)							燃料費	455

(PLAN) 計画

(DO) 実行

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	地域資源の磨き上げと交流の拡大に大きく貢献している。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	キトキトマルシェが5周年を迎え定期的に開催される催しとして定着している。
有効性	③成果の向上余地がない か	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	来園者数が年々増加傾向にあるので、受け入れ側の創意工夫により成果の向上が見込まれる。
効率性	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	事業費の不足分を補正対応している状態であり、削減の余地はない。
	⑤人員や実施形態は 適正か	○ 改善の余地がない ● 改善の余地がある	指定管理者制度の導入について検討する余地がある。
	⑥他自治体と連携できる か	○ できない ● できる	シルクロードネットワーク等、全国の絹遺産を所有する自治体等とのネットワークが構築されている。
	⑦官民協働できるか	○ できない ● できる	多くの市民参加により市民協働事業として進めている。
	⑧地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	地域の農業振興、観光振興のほか、若年層の交流の場となっている。

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
来園者の大幅な増加と活用の推進により、耐震補強等の安全確保が課題となっている。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

文化庁に対し、補助金の交付決定に向けて調整中。 このほか、今後の利活用の方針を定める第4期利用計画を策定する予定。
--

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
歴史的建造物を活用した地域活性化事業(文化庁)を活用し、今後、複数年にわたり、耐震補強と公開活用のための大規模改修事業を実施する。

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)	
所属長評価	キトキトマルシェの開催等により活用が図られている。今後、さらなる保存・活用のため、耐震補強と活用の為の改修工事を行うための手続きを進める予定であるが、関係課との連携で進める必要がある。	所属長評価	これまでの利活用の活動が、地域づくりへと発展し、県や国の各賞を受賞した。平成29年度より本格的に大規模改修に着手するが、第4期利用計画の策定と連携し、より具体的な保存活用の方向性を定める必要がある。
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

(PLAN) 計画

1. 基本事項

事務事業名	物産振興交流推進事業			事務事業コード	132-205-42
総合計画	基本目標	1	いきいきと働き、活力とにぎわいのあるまち	担当課	商工観光課
	政策名	3	地域資源を磨き、魅力ある観光産業を確立する	担当者	柏倉 敏彦
	施策名	2	交流の促進	内線	253
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等					
予算・事務事業名	一般会計	7款1項3目	物産振興対策事業費	予算コード	01-070103-0300
事業期間	○ 単年度		事業年度 平成 年度	(1年限りの事業)	
	● 期間限定		始期 年度 ~ 終期 32 年度	(独自事業は基本的に平成32年まで)	
	○ 単年度繰り返し(継続)		開始年度 平成 年度 ~	(期限の定めのない事業)	

2. 事務事業の概要

目的	活力とにぎわいのあるまちを目指し、交流人口の拡大と地域産業の活性化を図る。地域の特産品を全国へ紹介し、地域経済の活性化と本市のイメージアップにつなげる。 今事業から食産業事業者の所得向上と「新庄ブランド」の構築を図る。	事業内容	①物産交流事業を榊もがみ物産協会に一部委託。本市ゆかりの都市や団体に対し、産地の紹介と物産の販売を行う。 ②新庄市物産振興会議として、新商品の開発や販路の拡大等を実施する。また、大消費圏でのアンテナとなる店舗やイベントに出店し、事業者の所得向上を目指す。 地域の資源をテーマとした魅力ある地域特産品の開発。(例:まつりや民話をテーマとした土産品・地域農産物を活用した加工食品など)
対象	特産品加工(業)者、特産品生産者、販売店、小売店、取扱店(代理店)、新庄ファンなど多岐にわたる。		
目指す状態	物産交流事業を通じて、地域特産品の紹介及び交流を図る。また、新商品、新規企業の掘り起こし等の支援を行う。物産のマッチングから販路拡大をめざす。		
実施形態	<input type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32見込	
			実績	-	-	-				
活動指標	移動物産展出店回数(回)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32計画	
		実績	22	23	30				10	
		達成率	220.0%	230.0%	300.0%					
成果指標	榊もがみ物産協会物産展等交流事業全体の販売実績(千円)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32目標	
		実績	18,653	22,960	24,775				20,000	
		達成率	93.3%	114.8%	123.8%					
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)									
	※参加した物産市①		物産振興会議が支援した出店②							
	山形県観光物産市(8月)		最上地域特産品フェア			5月、9月、10月				
	東北のへそまつり(9月)		大江戸和宴			6月				
	湯けむりライン物販(9月)		全国ねぎサミット			11月				
	北区区民まつり(10月)		キャラクターさみっとin羽生			11月				
	新庄の観光物産展(10月)		ふるさと応援隊交流会催事			1月				
	タママルシェ(11月)									
おおがき芭蕉楽市(3月)										
成果(どのような状態になったか)	①友好都市間の深い交流に寄与している。また、新庄市ゆかりの団体との信頼関係構築から商品販売に結びついている。 ②新たな交流先、流通先を探るべく、新規出店の機会を多くとらえ、従来の依存型物産展からの脱却を図った。									

(DO) 実行

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	事業費の算出根拠(H28)	
事業費・・・①	7,375	7,642	6,346	6,360			歳入の積算内訳	
内訳	国庫支出金		3,000				地方創生推進交付金	3,000
	県支出金	4,317	3,866					
	受益者負担							
	その他特財							
一般財源	3,058	3,776	3,346	6,360	0	0	主な歳出の内訳	
人件費・・・②	6,246	6,637	5,883	5,883	0	0	新庄市物産交流推進事業委託料	300
内訳	正規職員(人)	0.80	0.85	0.76	0.76		新庄市物産振興会議負担金	3,000
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,741		市特産品販売拡大事業委託料	2,000
費用合計(①+②)	13,621	14,279	12,229	12,243	0	0		
臨時嘱託等(人)								
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)								

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	物産を通して、交流やPRの機会とし、来訪者の誘客に結びついている。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	友好都市等の交流に加え、経済活動が活発な都市との交流先を探るうえで適切である。
有効性	③成果の向上余地がない か	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	新たな製品の開発による、製品の磨き上げによる売上向上の他、交流販売先の開拓による、地域経済の活性化に向上する余地は、まだまだある。
効率性	④成果を下げずに事業費を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	生家向上のためには、削減の余地はない。
	⑤人員や実施形態は適正か	● 改善の余地がない ○ 改善の余地がある	更に推進し、成果向上のための人員であり、削減の余地はない。
	⑥他自治体と連携できるか	○ できない ● できる	現在も連携しているものもあるが、全てを連携して行うことは極めて難しい。
	⑦官民協働できるか	○ できない ● できる	現在も官民協働で行っている。
	⑧地域の課題や実情に合わせた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	

(CHECK) 自己評価

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
物販催事については、初めて行う箇所での成功は難しく、修正を重ね、複数回行うことにより、認知され、リピーターもついて売上向上につながっていくこともある。こうしたことから、何度かの実施し収益性が見込めない箇所については、物販イベント開催都市や会場について検討していく必要がある。しかしながら、友好都市等、柵により断れない場合もあることから、出店企業の販売額のバランスを重視し、物産振興会議が主体となって出店しなければならない場合もある。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

<ul style="list-style-type: none"> ・首都圏での委託販売先の増加を検討している。 ・首都圏及び仙台・山形等で開催されるイベントに出店してきている。 ・これまで何らかのつながりのあった地域への物販催事の出展を実施。 ・連携自治体によるアンテナショップへの商品の販売拡大。

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
週末物産市や物販催事を行う場所については「物産振興会議」で検証・検討を行うとともに、新規物販催事箇所の開拓を視野に入れ、販売額の向上に努めていく。 また、平成29年度に宮城県の2市町と山形県の本市を含む4市町によるアンテナショップが都内の大学、商店街と連携しオープンすることから、新たな販路と販売額の拡大につながるものと期待される。

(ACTION) 改善

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)	
所属長評価	物産を販売するということは、「新庄」を売るという観点、地域活性化という点からも重要であり、今後も拡大し強力に進める必要がある。	所属長評価	物販のみならず「新庄」の魅力を発信してきており、「モノ」だけではなく「ヒト」とのつながりによる新たな「SHINJOファン」の増加に、着実に結びついており、今後とも拡大し推進していく必要がある。
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

事務事業名	外国人誘客推進事業			事務事業コード	132-301-42
総合計画	基本目標	1	いきいきと働き、活力とにぎわいのあるまち	担当課	商工観光課
	政策名	3	地域資源を磨き、魅力ある観光産業を確立する	担当者	加藤 拓朗
	施策名	2	交流の促進	内線	253
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等					
予算・事務事業名	一般会計	7款1項3目	観光交流推進事業費	予算コード	01-070103-0103
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input checked="" type="radio"/> 期間限定 始期 23 年度 ~ 終期 32 年度 (独自事業は基本的に平成32年まで)				
	<input type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 年度~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	本市を訪れる外国人旅行者の誘致を図り、地域活性化につなげる。	事業内容	国際旅行博や商談会に参加し、外国人旅行者や旅行エージェントへ当地域の紹介をするとともに、外国人旅行者に対するおもてなしの研究及び受入態勢の整備を図る。		
対象	外国人旅行者				
目指す状態	地域の情報、魅力の発信を行い、誘客を図る。	実施形態	<input type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	山形県訪日外国人観光者数(千人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32見込	
			実績	68	97	128					
説明(算式等)			達成率								
活動指標	指標名称	誘致キャンペーン現地訪問回数	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32計画	
			実績	3	2	3					5
説明(算式等)			達成率	60.0%	40.0%	60.0%					
成果指標	指標名称	外国人入込数(人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32目標	
			実績	583	883	1,737					1,000
説明(算式等)			達成率	58.3%	88.3%	173.7%					
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)										
	○新庄・最上地域への外国人旅行者数の推移(人) ※県が実施している「外国人旅行者受入実績調査報告」を参照。										
		H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
	台湾	5,901	-	5,671	7,290	2,631	3,362	3,559	4,955	6,790	9,787
	韓国	144	-	157	257	455	223	220	106	278	1246
	香港	1,902	-	389	621	63	188	79	421	128	231
	中国(香港除く)	0	-	66	37	7	57	50	38	209	172
	ASEAN	-	-	80	75	27	24	325	123	377	641
	その他	150	-	90	424	160	360	143	145	149	777
	成果(どのような状態になったか)	主に台湾旅行市場への、最上地域を含む広域観光圏の紹介が図られた。また、外国人観光客が伸びてきている。									

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	事業費の算出根拠(H28)	
事業費・・・①	3,325	1,500	26,770	1,500			歳入の積算内訳	
内訳	国庫支出金		23,885				東北観光復興対策交付金	5,000
	県支出金						地方創生加速化交付金	16,000
	受益者負担						地方創生推進交付金	2,885
	その他特財							
	一般財源	3,325	1,500	2,885	1,500	0	0	主な歳出の内訳
人件費・・・②	4,294	4,997	4,335	4,335	0	0	新庄市インバウンド誘致キャンペーン実行委員会負担金	3,000
内訳	正規職員(人)	0.55	0.64	0.56	0.56		雪国体験施設整備事業委託料	5,000
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,741		地域ブランディングのための情報発信業務	15,000
費用合計(①+②)	7,619	6,497	31,105	5,835	0	0	印刷製本費(外国人観光客向けトイレストッカー)	270
臨時嘱託等(人)							オリジナルスマートドール製作業務委託料	3,500
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)	地方創生加速化交付金並びに地方創生推進交付金及び東北観光復興対策交付金により新たな事業を実施。							

(PLAN) 計画

(DO) 実行

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	新庄まつり以外でもツアー誘客が成功した。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	○ 適切である ● 見直しの余地がある	安定した人数を継続して誘致できるまでに至っていないため。
有効性	③成果の向上余地がない か	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	新庄まつりのユネスコ登録と雪を使った観光コンテンツの造成により、国際旅行博等で今後効果的なPRができるから。
効率性	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	誘客数によって、掛かる経費が違ってくるため、現状よりも削減することは不可能。
	⑤人員や実施形態は 適正か	● 改善の余地がない ○ 改善の余地がある	最低限の人員でPRやツアーガイドを行っているため、改善の余地はない。
	⑥他自治体と連携できる か	○ できない ● できる	外国人旅行者に人気な最上川船下りと連携へ向けて取り組んでいる。
	⑦官民協働できるか	○ できない ● できる	官民一体となった協議会を組織し実施している。
	⑨地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	まつり以外でのツアー誘客や冬季の観光コンテンツ開発を進めていく。

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
新庄まつりツアーについて継続して誘客することができた。また、今年度から雪国ワンダーランドへのツアー誘客を行うことができ、今後も引き続きPR活動が必要。新庄東高校が台湾の高校と姉妹校締結したことによって、今後教育旅行での受け入れが増えると思われる。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

免税店の整備、カード決済の体制整備、公衆トイレの使い方ステッカー整備、冬季観光コンテンツの造成、徐々に準備はできているが、想定されるツアー受入にはまだまだ受入態勢整備を推し進める必要がある。

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
前年度に比べ、ツアー誘客は確実に増加しているため、受入態勢整備を進めながら継続してPR活動を行っていく。各種助成金、補助金の体制を整えておく必要がある。

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)	
所属長評価	東北地域でインバウンド誘致が遅れている中、山形県も台湾をメインターゲットに設定し、誘客に力を注いでいる。新庄まつりだけでなく、雪を使った観光資源でインバウンド誘致に取り組んでいく。	所属長評価	交付金を有効に使って事業を実施できたことで、大幅にインバウンド誘致が進んだ。今後もスピード感を維持し、受入態勢整備とPRを行っていく。
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

(PLAN) 計画

1. 基本事項

事務事業名	新庄雪まつり実行委員会補助事業			事務事業コード	412-101-42
総合計画	基本目標	4	社会生活基盤が整い、安全で快適なまち	担当課	商工観光課
	政策名	1	冬の快適な暮らしを実現する	担当者	齋藤 一成
	施策名	2	雪と暮らすライフスタイルの確立	内線	252
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等					
予算・事務事業名	一般会計	7款1項3目	観光振興対策事業費	予算コード	01-070103-0101
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input checked="" type="radio"/> 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 (独自事業は基本的に平成32年まで)				
	<input type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 年度~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	本地域の特徴である雪を観光資源と捉え、雪まつりを実施することで、交流人口の増加を図る。	事業内容	新庄雪まつり実行委員会に補助金を支出し、雪像を設営、各種イベントを開催する。		
対象	市民・観光客				
目指す状態	「まつりと雪のふるさと新庄」をアピールすることができ、交流人口の拡大につながる。	実施形態	<input type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	説明(算式等)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32見込
				実績	達成率					
活動指標	指標名称	PRチラシ発行枚数(万枚)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32計画
	説明(算式等)		実績	3	3	3				3
成果指標	指標名称	来場者数(万人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32目標
	説明(算式等)		実績	7	6	6				10
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)									
	<ul style="list-style-type: none"> 自衛隊や市民有志による雪像の制作・展示、夜間のライトアップ 子供向けヒーローショーの開催 雪に親しむ雪合戦やスノーモービル、雪上運動会や雪上すもう大会 地元の食文化にスポットを当てた、食楽(くら)市場 ステージでのコンサートやダンス等 									
成果(どのような状態になったか)	当市における冬の風物詩として定着しており、子どもからお年寄りまで、また多くの県外客の来場により、交流人口の増加につながった。									

(DO) 実行

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	事業費の算出根拠(H28)	
事業費・・・①	800	900	900	900			歳入の積算内訳	
内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	受益者負担							
	その他特財							
一般財源	800	900	900	900	0	0	主な歳出の内訳	
人件費・・・②	2,342	1,718	1,780	1,780	0	0	新庄雪祭り実行委員会補助金	900
内訳	正規職員(人)	0.30	0.22	0.23	0.23			
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,741			
費用合計(①+②)	3,142	2,618	2,680	2,680	0	0		
臨時嘱託等(人)								
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)								

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	雪を地域資源として有効活用することで、冬期間の交流人口の拡大を図る。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	新庄市における冬期間の観光資源として、市内外より人を集めている。
有効性	③成果の向上余地がない か	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	ここ数年新しさがなく、運営方法も固定化されつつあるため、新しい仕掛けで 交流人口を増加させることは可能である。
効率性	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	実行委員会が集めている広告収入を主たる財源としているが、景気状況もあり 収入が年々減少している中、補助金を削減して実施することは難しい。
	⑤人員や実施形態は 適正か	● 改善の余地がない ○ 改善の余地がある	実施主体である新庄青年会議所に対し、協力体制をとっていく。
	⑥他自治体と連携するこ とで効率性が高まるか	● 効率性は高まらない ○ 効率性は高まる	雪まつり自体、新庄市内の固定された場所での開催であるため、他自治体と 連携したとしても効率化は見込めない。
	⑦官民協働できるか	○ できない ● できる	市としても実行委員会に実行委員として参画している。
	⑧地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	他に類似するイベントがなく、冬期間の観光資源に乏しい当市としては重要な 事業である。

(CHECK) 自己評価

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)

ここ数年目新しさがなく、運営方法も固定化されつつあるため、新たな仕掛けなどでより多くの誘客につなげていく方法が必要となる。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

新庄青年会議所と、検討会を立ち上げ、新たな運営方法を構築していく準備段階にある。

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)

日本国内に限定せず、雪のない海外からのインバウンドを見据えた施策を構築していく必要がある。

(ACTION) 改善

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)	
所属長 評価	これまでの開催方法・運営方法を根底から見直し、インバウンドも視野に入れた方向性を模索していく必要がある。	所属長 評価	主体である新庄青年会議所との協議の結果、開催場所の移転について大きな前進があったのは大きな成果である。今後、具体策の調整など、慎重かつスピーディーに事業を構築する必要がある。
今後の 方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の 方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				